

【小学校】研究調査報告書

種目名（国語）

項目	新しい国語 (2・東書)	
小学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元ごとに育成する資質・能力を「言葉の力」として明確化し6学年を通して段階的・系統的に配列し、螺旋的・反復的に学習を積み重ねられるようにしている。 ○ 各領域の単元を「見通す」→「取り組む」→「ふり返る」の課題解決的な3ステップの学習過程で構成し、着実に資質・能力を身につけられるようにしている。 ○ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に役立つように「個別最適な学び」と「協働的な学び」を充実させる様々な工夫を取り入れている。 	
特 色 内 容	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末付録「言葉の広場」では、より多くの観点から学年段階に応じた語を集めて掲載している。6学年で延べ1200を超える語を取り上げており、それらは、QRコンテンツでも見ることができる。 ○ 読書単元「本は友達」として、4月に図書館活用、7月に図書紹介等、12月に読書活動と設定し、読書に親しむ習慣や態度を育めるようにしている。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各単元は「見通す」「取り組む」「ふり返る」の3ステップに沿い、育成すべき「言葉の力」を明確にしたシンプルな構造で組織されている。 ○ 1単元1領域を原則とし指導事項を重点化するとともに、重点指導事項に即した具体的な言語活動を設定し、活動の目的や意図、条件に沿った課題解決的な学習を通じて必要な思考力、判断力、表現力が身につくようにしている。 <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各単元の「見通す」では、その単元で身につけたい「言葉の力」を明示し、既習事項や日常の言語生活とつなげながら、「頑張りたい」「できるようになりたい」ことを見いだせるようにしている。また、「学習の流れ」を示し、学習の見通しを持ちやすくしている。 	
	資料	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全学年、巻末資料に領域・系統ごとに「言葉の力」を示している。前学年の「言葉の力」も併せて確かめられることで、学びのつながりを実感することができる。 ○ 教科書紙面上の「QRコンテンツ」を豊富に用意しており、授業や家庭学習のあらゆる場面で活用することができる。
	表記表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ 物語・説明文には、5行ごとの行数字に加え、1行ごとに行を示す「・」をつけ、行を見つけたり指示したりしやすいようにしている。 ○ 1・2年では読みやすさに考慮して、語のまとまりを捉えやすくなるように文節ごとに分かち書きを用い、語のまとまりを意識した適切な位置で改行している。
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1～4年は上下巻、5・6年は年間で1冊となっている。 ○ 学習ページでは、上段に学習活動の展開、下段にノート例や対話例など、具体的な学びの姿を示し、学習が見渡せるように工夫されている。 ○ 教材の冒頭で、絵や写真を見開きで示し、学習意欲を高めるように工夫されている。 	

第25採択地区教科用図書採択協議会

【小学校】研究調査報告書

種目名（国語）

項目	ひろがる言葉 小学国語 (17・教出)
小学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全単元に、その単元の学習目標・学習のめあてや学習のてだてを明示し、学習の系統化や重点化を図っている。 ○ 各教科での言語活動の指針や、内容のおさえなど、他教科での「活用」にも広げることができるように構成されている。 ○ 学校図書館を計画的に利用し、その機能の活用を図るための情報活用教材を、発達段階を考え全学年に設け、また、読書交流教材も全学年に設けている。
特色	<p><知識及び技能が習得できるようにするための効果的な工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 話や文章を理解したり、話や文章で表現したりするために、情報を取り出したり、情報と情報との関係を整理したりすることができるような教材を設けている。 ○ 「学習のてびき」には、「本を読もう」を設置し、同一作者の別の作品や関連する話題・内容の本などを取り上げて紹介し、読書に広げる機会を設けている。 ・読書教材 上巻「情報検索・情報活用」下巻「読書体験の交流と表現活動」 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための効果的な工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 話し方だけでなく、聞き方を重点化した教材を設置し、日常生活での話の聞き取りに活用できるようにしている。 ○ 目的がはっきりした実用的な文章から、自分の心と向き合う自己を表現する文章までの多様な文種について、表現の全過程を見据え、教材の重点に応じて取り立て指導を位置づけて展開している。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための効果的な工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 社会の中で「共に生きていく」視点をもつこと、お互いを尊重し合える心をもつこと、自らの未来に展望をもち希望をもつこと、これらを国語学習の中で育めるように教材化を図っている。
	<p>資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習時に参照できる資料等を、ウェブサイトで見られるようにしている。 (例：児童例の別バージョンや補完版、資料画像等を「まなびリンク」で) ○ 音訓索引配列を行い、まだ学んでいない音に配列される漢字については、既習音訓でまず配列し、そこから参照ページへ導くようにして、児童が自ら学べるように配慮している。
	<p>表記表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 熟語などの表記については、適宜、上位学年の漢字をルビ付きで使用し、不自然な交ぜ書きを避けるようにしている。 ○ 文学作品、特に短歌・俳句・詩教材は、原典を尊重し、なるべくそのまま表記することを原則としている。
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全学年とも上下巻の分冊になっている。 ○ 「学習のてびき」の中に、学習活動を支える図解や児童の反応例を掲載し、主体的・対話的で深い学びにつながるように構成されている。 ○ 各教材の言葉を使った文作りで、語彙の増加と定着を図るよう工夫されている。

第25採択地区教科用図書採択協議会

【小学校】研究調査報告書

種目名（国語）

項目	国語 (38・光村)	
小学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日常生活に必要な特質について理解し、様々な場面で主体的に活用でき、生きて働く知識・技能として習得できるよう、教材化や単元配列を工夫している。 ○ 日常生活における人との関わりの中で、思いや考えを伝え合う力を高めたり、論理的に思考し、豊かに想像する力を高めたりすることができるよう配慮している。 ○ 学習活動を通して「言葉による見方・考え方」を育成できるよう、年間の単元配列を工夫している。 	
特色	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 言葉についての知識の整理と、練習問題によって言葉の力が確実に定着するように、小単元を偏りなく配している。(漢字の広場・カンジーはかせの都道府県の旅) ○ 2年生以上各学年4か所に「季節の言葉」を設け、日本人の季節感を育んできた様々な伝統行事や風物等を言葉と共に取り上げ、それらを題材とした韻文に触れることで語感を育成する工夫をしている。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「話す」「聞く」「話し合う」学習を2年以上で5、6か所配置し、集中的に行うよう工夫している。加えて、「書くこと」「読むこと」の学習における交流場面等に具体的な発話例を示し、定着と活用を図っている。 ○ 「季節の言葉」「漢字の広場」においても書く活動を設定し、年間を通じて繰り返し学習することで、定着と活用を図っている。 <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 様々な読み物や学習活動を通して、人と社会の多様性を認め、尊重する態度を育成するように、配慮している。 ○ 看板やパンフレットなど、身の回りにある媒体を取り上げ、それぞれの「読み方」について考える教材を設定している。 	
	資料	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書の随所に記載されているQRコードを読み取ることで、教科書の内容に連動したコンテンツを閲覧することができる。 ○ 教材内容の理解を助け、イメージを豊かに広げられる絵・写真を適所に掲げている。また、内容を解説するための写真や図・グラフを必要な箇所に付し、本文理解の助けとなるように工夫している。
	表記表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年の漢字・片仮名は9月から提出して、無理なく学習できるよう配慮している。 ○ 2年までは、全ての音訓に文脈の中で触れることができるよう配慮している。 ○ 原則として交ぜ書きしないよう配慮している。また、詩歌に関しては、原作のまま掲載することとし、未習漢字には振り仮名を付して掲載している。
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1～4年は上下巻、5・6年は年間1冊となっている。 ○ 学習ページでは、二段構成で上段に活動の流れ、下段に学習ポイントが書かれ、学習を進めやすくするように工夫されている。 ○ 各領域で「問いをもとう」を掲げ、主体的に学習に取り組めるようになっている。 	

第25採択地区教科用図書採択協議会

【小学校】研究調査報告書

種目名（書写）

項目	新しい 書写 (2・東書)	
小学校指導要領の教科の目標との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「書写のかぎ」「単元名」等が、学習指導要領に示されている各学年の目標と内容の取扱いに示されている事項に、忠実に対応している。 ○ 「学びを生かそう」「振り返って話そう」「書き込み欄」を設定し、「集めて使おう書写のかぎ」「書写の学び方」を示すことで、児童が主体的な学び・対話的な学びに取り組み、課題解決が図れるように工夫されている。 	
特色	<p>内容</p> <p><知識及び技能が習得できるようにするための効果的な工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 鉛筆の持ち方の写真表示が持ち手の視点で表示されている。 ○ QRコードが各活動にあり、必要に応じて動画や音声で確認することができる。 ○ 単元ごとに「書写のかぎ」が明記され、学習の内容が示されている。 ○ 手紙、はがきを書く活動を各学年におき系統的に扱っている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための効果的な工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 縦書き、横書きの文では、句読点、促音の使い方がマス目を使ってわかりやすく、深い学びにつながる構成になっている。 ○ 毛筆の漢字の手順が画の長さ、上下、左払い、左右、かきぞめ、平仮名の手順で表記されている。 ○ 文字と一緒に文字文化に触れている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための効果的な工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「学びを生かそう」で生涯生かせる技術にふれている。 ○ 教室における文字表記が絵で示され、点や画の方向、文字間の表記がわかりやすい。 ○ 習字道具の使い方、紙ばさみの作り方、片付けの仕方が表記されている。 	
	資料	<ul style="list-style-type: none"> ○ QRコードコンテンツが151個ある。はじめに音声アドバイスがあり、学習の準備の実際の作業をカメラの上の視点から映している。 ○ 課題を見つけるために、ポイントになるところを「書写のかぎ」とし、キャラクターを使って説明しているので導入に役立つ。水書用紙がついている。
	表記表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ イラストと「びた」「びん」「すうっ」という言葉を使って硬筆の筆使いを身に付けるようにしている。毛筆を使う段階から「とん」「びた」「すう」という言葉に変えて運筆を表している。 ○ 筆の向きについて、角度で表したり、名前と筆の穂先の向きをイラストで表したりして、横画、縦画、点、折れ、はらい、曲がり、反りがわかりやすい。
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○ 直接書き込むことができるので、補助教材がいらぬ。 ○ 低学年には、クイズ形式にして楽しく学習内容を考えさせている。 	

【小学校】研究調査報告書

種目名（書写）

項目	小学 書写 （17・教出）
小学校指導要領の教科の目標との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学習のめあて」や「○年生で学習すること」「単元名」等、学習指導要領に示されている各学年の目標と内容の取扱いに示されている事項に忠実に対応している。 ○ 「学習のまとめ」や「振り返ろう」「書き込み欄」を設定し、児童が主体的・対話的な学びに取り組み、課題解決を図れるように工夫されている。
特色	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 鉛筆の持ち方のポイントが細かく表示され、左利きの持ち方も表示されている。 ○ QRコードが各活動にあり、必要に応じて動画や音声で確認することができる。 ○ 単元ごとの「めあて」が明記され、学習の内容が把握しやすい。 ○ 書写体操（全身空書き）がある。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 毎単元の書き方のポイントでは、思考・判断・表現活動ができるようになっている。 ○ 縦書き、横書きの文では、句読点、促音の使い方がわかりやすい。 ○ 毛筆の漢字の手順が部分の組み立て（左右・上下）、画の長さ、左払い、平仮名の折れの手順で表記されており、習得しやすくなっている。 <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 中学年以上は「考えよう・ここが大切・生かそう」という段階を踏みながら学習を進められるようになっている。 ○ 文字探しの表示が名札、ポスター、標語、学校図書館、給食室等の写真で示してありわかりやすい。 ○ 点や画の方向、文字間の長短の表記がわかりやすい。 ○ 習字道具の使い方、紙ばさみの作り方、片付けの仕方がわかりやすく表記されている。
	<p>資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 水書用紙がついている。1年で学んだ水書用紙の書き方を2年でも行い、更に運筆の練習につなげている。 ○ 「とん・すう・ぴた」という言葉と横画、縦画、とめ、はらい、はね、点を体得させる体操を入れ、3年から6年まで点画の種類を継続して繰り返している。
	<p>表記表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1～3年のめあてはりんごマーク、4～6年のめあては水色で表記され、学習内容が把握しやすい。 ○ 技能のめあてがはっきりしており、実践（半紙や用紙など）が多い。
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「レッツトライ」他教科関連（算数ノート、暑中見舞い、図工作品カード、社会科見学お礼状、社会のまとめ、理科ノート、はがき、防災かるた、筆記用具の工夫、国語ノート、校外学習パンフレット）の学習活動が組み込まれている。 ○ 書写以外の他教科や行事等に関連づけ、生かそうとする内容が多い。（各教科と連携した指導計画が立てられる。）

【小学校】研究調査報告書

種目名（書写）

項目	書写 (38・光村)	
小学校指導要領の教科の目標との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「〇年生のめあて」「たいせつのまとめ」「単元名」等学習指導要領に示されている各学年の目標と内容の取扱いに示されている事項に忠実に対応している。 ○ 「まとめ」「振り返ろう」「書き込み欄」を設定し、巻頭ページで写真を使って「学習の進め方」を工夫することで、児童が主体的・対話的な学びに取り組み、課題解決を図れるように工夫している。 	
特色	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 鉛筆の持ち方が絵で表現され、ポイントを表記している。右利き・左利きの動画がQRコードで表示されている。また、必要に応じて動画や音声で確認することができる。 ○ 単元ごとの「ねらい」が明記され、学習の内容が把握しやすい。 ○ 小筆の使い方の単元がある。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 虫メガネマーク（なぞとき）で課題を自ら考えさせる。 ○ 縦書き、横書きの文では、句読点、促音の使い方がマス目を使ってわかりやすく、深い学びにつながる構成になっている。 ○ 始筆・送筆・終筆の手順や穂先のポイントがわかりやすい。 ○ 3年生には、「たしかめようシール」がついており、「ななめほさきちゃん」「始筆」「送筆」「終筆」の各シールを貼ることで、筆使いを自己評価・相互評価できる。 <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校・敷地における文字探検の表示がわかりやすい。 ○ 点や画の方向がわかりやすい。 ○ 習字道具の使い方、紙ばさみの作り方、片付けの仕方が表記されている。 	
	資料	<ul style="list-style-type: none"> ○ 書写ブックでは、1年から6年で学習したこと（文字の歴史、黒板アート、消しゴムはんこ等）の生かし方がある。4年のSDGsブックでは、防災マップ、タブレットを使って自分の課題を見つけるようにしている。 ○ QRコードコンテンツが363個ある。カメラが横斜め後方から書き方を映しているので運筆の角度や穂の動きがよく見える。NHKfor スクールにリンクしている。左利きの用具の準備の仕方や実際の作業がある。
	表記表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毛筆の教材文字には行の中心に▼の印が上下にあり、氏名等も例が示されている。また、漢字の手順が点画の接し方、筆順、平仮名（らん）、左右、上下の組み立ての表記となっている。 ○ 点や画の方向や間の取り方、バランスを比較することでよりよい文字の書き方を学べるように工夫されている。
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○ キャラクターの動きや擬態語・擬音語（ぐっ、すうっ、ぴょん、ぴたっ等）で、入門期においてねこのイラストを使って筆の使い方を示している。 ○ SDGs やタブレットの活用など、社会情勢に合わせた学習の仕方を取り入れている。 	

【小学校】研究調査報告書

種目名（ 社会 ）

項目	新編 新しい社会 (2・東書)	
小学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会的事象の見方・考え方に着目して学習が進められるように構成されている。 ○ 学習段階に応じた学習活動を例示し、小単元を通じて「主体的・対話的で深い学び」につながるよう構成が配慮されている。 ○ 今日的な教育課題にかかわる箇所を中心に、学習したことを生かして社会的な事柄に参画したり、提案・発信したりする学習場面を設けている。 	
特色	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「まなび方コーナー」が設定され、学年に応じて3・4年生では地図や地図記号、5年生では地球儀、グラフや統計資料の読み方、6年生では年表やそこからの社会的事象の読み取りなどが示され、社会的事象について調べる技能が身につけられるようになっている。 ○ 時間毎に学習内容の核となるキーワードが「ことば」のコーナーで示され、解説されている。このコーナーの言葉は単元の最後の「まとめる」段階で再度掲出され、学習のまとめに活用できるようになっている。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 社会的事象の見方・考え方を養えるように、各学年の発達段階に応じて「位置・空間」・「時間」・「相互関係」・「比較・分類・関連付け」の4つの視点が示されている。 ○ 社会的事象について関連性やその意味を捉えることができるよう、「いかす」場面や「まとめる」場面において、多様な表現活動を行うことができるよう、構成が工夫されている。 <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各時間、学びのポイントが示され、学習の進め方が分かりやすくなっている。 ○ 「SDGs」や「人権・平和」、「ICT」に関する内容を取り入れ、今日的課題に関する内容が充実している。 	
	資料	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元ごとの導入場面を中心に、資料が大きく掲載され、本時のめあてに着目して学習が進められるようになっている。 ○ 「一人一台端末」に対応した多様なQRコンテンツが収録されており、インタビュー動画や「まなび方コーナー」動画などの内容となっている。
	表記表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真や図表などの資料は、見開き単位で番号を付け、指導の際に使いやすくなる配慮がされている。 ○ キャラクターの台詞を通し、社会的事象の見方・考え方を生かした問いが示されている。 ○ 単元の学習問題や本時のめあてが明示されている。
総括	<p>どの学年、どの単元においても、「つかむ」、「調べる」、「まとめる」という学習過程で構成され、時間毎のめあてが明確に示されている。さらに、分かりやすく学習活動を示した「まなびのポイント」が示されている。また、社会的な事柄に参画・提案する場面の「いかす」の充実がなされ、児童一人一人が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がされている。</p>	

【小学校】研究調査報告書

種目名（ 社会 ）

項目	小学社会 (17・教出)
小学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会的事象の見方・考え方を促す工夫がされている。 ○ 各時間、「この時間の問い」「次につなげよう」の形で本時の課題と、次時の学習に向けた見通しが分かりやすく示されており、問題解決的な学習が進められる構成となっている。 ○ SDGs の観点や環境、人権といった課題を数多く取り上げ、グローバルな社会で生きていく中で必要な内容が数多く取り上げられている。
特色	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「学びのてびき」のコーナーで、地図や統計資料等の学び方について解説されている。 ○ 時間毎に学習内容の重要語句が「キーワード」のコーナーで示され、「まとめる」の学習段階ではそれらを使って学習のまとめができるように構成されている。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の発達段階に応じた「時間」・「空間」・「比較」・「関連付ける」・「工夫」・「総合する」等の社会的事象の見方・考え方の着眼点が示され、太字で強調されている。 ○ 毎時間、問いを中心に学習が展開されている。 <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習の過程が示され問題解決的な学習が充実し、主体的に学習に取り組む工夫がされている。 ○ 「つなげる」の段階では、単元で学習したことをもとに、SDGs 等の今日的課題の視点を持って自身で選択・判断したり、将来の予想や構想をしたりする内容となっている。
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時のめあてに関連する写真や統計資料・グラフが、学習の順序に基づいてア・イ・ウ…の記号で整理されている。 ○ 「まなびリンク」のコーナーが設定され、学習に関するデジタルコンテンツの2次元バーコードが各単元の要所のページに掲載されている。「動画」・「ワークシート」・「ウェブサイト」・「読み物」・「クイズ」等に分類されている。
表記表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きを単位とした紙面を本文と資料に明確に区分することで指導の際に使いやすくなる工夫がされている。 ○ 各学年に設定されたキャラクターの台詞を通して、社会的事象の見方・考え方を働かせた学びが促されている。 ○ 単元の学習問題や本時のめあて、次時へのつながりが明確に示されている。
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書が「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」という学習の過程で単元が構成されている。問題解決的な学習が充実し、主体的に学習を進められるつくりとなっている。 ○ 学習のつながりを意識し、「この時間の問い」に始まり、問いを中心に学習を展開し、「次につなげよう」で次時につながるような工夫がされている。

第25採択地区教科用図書採択協議会

【小学校】研究調査報告書

種目名（ 社会 ）

項目	小学社会 (116・日文)
小学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会的な見方・考え方を育むために、「見方・考え方コーナー」で、3つの視点（空間、時間、相互関係）での学習の深め方を示している。 ○ 問題解決的な学習を展開できるように、図を用いて進め方を示し、これらを活用することで「児童一人ひとりが調べ、ともに考え深め合い、表現しながら問題を解決する社会科学学習」としての教科書の構成と使い方をつかむことができるように配慮されている。 ○ 日本と諸外国との関係や、グローバル化、特に SDGs に関する事柄が多く取り上げられている。
特色	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 授業の中心となる用語について「キーワード」の項目で詳しく解説がされている。 ○ 「学び方・調べ方コーナー」を設定し、見学や観察などの仕方や、資料の読み取りをサポートするコーナーなどを設定し、知識及び技能を確実に習得できるようにしている。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 社会的事象の見方・考え方について「空間」「時間」「関係」の3つに分類して視点を持たせるように工夫がされている。 ○ 「学び方・調べ方コーナー」では「見る・調べる」「読み取る」「表現する」の3つの項目で学習が進められるようになっている。 <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習問題の項目では、児童のキャラクターが話し合い、疑問を出し合って学習問題を決めている表現がされており、児童が主体的に学習に取り組む工夫がされている。 ○ 単元内の各所にある「考えよう！SDGs」のコーナーでは、SDGsに関する項目が取り上げられており、我が国の将来を担う国民としての自覚を持たせる工夫がされている。
	<p>資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元ごとに、問題を追究・解決するのに必要な写真や図、グラフ、地図などの資料が掲載されており、だれでも読み取りやすい色づかいにされている。 ○ 教科書QRコンテンツがページごとに掲載され、二次元コードの読み取りにより、ワークシートや画像、動画などのコンテンツにアクセスすることができる。
	<p>表記表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ スムーズに読み進められるよう、読みやすいまとまりで改行されており、資料には図版番号が付けられて、指導の際に使いやすくなる配慮がされている。 ○ キャラクターの台詞を通し、社会的事象の見方・考え方を育むためのアドバイスがされている。 ○ 単元の学習問題や本時のめあてが明示されている。
総括	<p>全体を通して、カラーユニバーサルデザインへの配慮がされ、導入部分でインパクトのある資料や図が掲載されている。また、問題解決的な社会科の学習ができるよう、「見方・考え方コーナー」や「学び方・調べ方コーナー」などを設け、児童一人ひとりが主体的に学ぶことができるような工夫がされている。</p>

第25採択地区教科用図書採択協議会

【小学校】研究調査報告書

教科名（ 地図 ）

項目	新しい地図帳 （2・東書）	
小学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本の位置及び範囲、領土や近隣諸国との位置関係などが理解しやすいように配置されている。 ○ 問題解決的な学習を充実させるために、日本の地域や諸外国を調べる地図や資料がわかりやすく分けられて配置されている。 ○ グローバル化する国際社会を捉えられるように、主要な外国の生活を扱うコーナーを設けている。 	
特色	<p><知識及び技能が習得できるようにするための効果的な工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 方位や地図記号、縮尺などを取り扱い、地図を読み取るために必要な技能を身につけられるように配慮されている。また、本地図帳での地形の色分けや記号、索引の使い方についても項目を設けて構成されている。 ○ 都道府県の名前と位置について、都道府県の形や文字に注目させて児童が考えながら、都道府県の位置と名前を学習しやすいよう配慮されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための効果的な工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「日本の産業」では、写真やイラストを使い、地理的環境の特色に目を向けられるように工夫されている。 ○ 「日本の自然災害」では、日本で過去に起こった災害やその場所を地図上に表し、ハザードマップを載せるなど、社会的事象について考えることができるように構成されている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための効果的な工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日本の農水産業や工業、交通など、日本の産業の様子を取り扱ったり、日本と外国の貿易や観光などの、日本と外国の結びつきを取り扱ったりして、多角的な思考や理解を深められるように配慮されている。 ○ 各ページに「ホップ、ステップ、マップでジャンプ」という発達段階に合わせた三段階の問いを載せることで、よりよい社会を考え、主体的に問題解決をしようとする態度を養うことができるように構成されている。 	
	資料	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地図帳の基本的な使い方、読み取り方について項目を設け、主体的に学習を進められるように工夫されている。 ○ 授業に役立つコンテンツ、調べ学習に役立つウェブサイトへのリンクなどを収載している。
	表記表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各ページにキャラクターを登場させ、吹き出しのセリフで、学習の課題やヒントが示されている。 ○ ユニバーサルデザイン (UD) フォントを使用し、あらゆる児童にとって使いやすく、学習への意欲が高まるよう工夫されている。
総括	<p>社会的な見方・考え方を働かせ、位置や空間的な広がりに着目できるよう、デザインやレイアウトが工夫されている。都道府県の名前と位置について巻頭に設定され、3・4年生から主体的に学習を進めやすいように配慮されている。日本の歴史年表と関連付けた世界地図を載せ、歴史の学習の際にも活用できるようになっている。</p>	

第25採択地区教科用図書採択協議会

【小学校】研究調査報告書

種目名（ 地図 ）

項目	楽しく学ぶ 小学生の地図帳 3・4・5・6年（46・帝国）	
小学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本の位置及び範囲、領土や近隣諸国との位置関係などが理解しやすいように配置されている。 ○ 問題解決的な学習を充実させるために、日本の地域や諸外国を調べる地図や資料がわかりやすく分けられて配置されている。 ○ グローバル化する国際社会を捉えられるように、主要な外国の生活を扱うコーナーを設けている。 	
特色	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 方位や地図記号、縮尺などを取り扱い、地図を読み取るために必要な技能を身につけられるように配慮されている。また、本地図帳での地形の色分けや記号、索引の使い方についても項目を設けて構成されている。 ○ 都道府県の名前と位置について、都道府県の形や文字に注目させて、児童が考えながら都道府県の位置と名前を学習しやすいよう配慮されている。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「日本の産業のようす」では、写真やイラストを使い、地理的環境の特色に目を向けられるように工夫されている。 ○ 「日本の自然災害と防災」では、日本で過去に起こった災害や災害に備える国や地域の取り組みを扱い、防災マップの作り方を載せるなど、社会的事象について考えることができるように構成されている。 <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日本の農水産業や工業、交通など、日本の産業の様子を取り扱ったり、日本と外国の貿易や観光などの、日本と外国の結びつきを取り扱ったりして、多角的な思考や理解を深められるように配慮されている。 ○ 「持続可能な開発目標（SDGs）」のページを設け、世界の課題に目を向け、よりよい社会を考え、主体的に問題を解決しようとする態度を養うことができるよう構成されている。 	
	資料	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地図帳の基本的な使い方、読み取り方について項目を設け、主体的に学習を進められるように工夫されている。 ○ デジタル端末に対応した QR コンテンツと都道府県学習に適したデジタル地図を掲載している。
	表記表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「広く見わたす地図」では、日本の各地方を俯瞰しながら大まかにそれぞれの様子を捉えられるように構成されている。 ○ ユニバーサルデザイン（UD）フォントを採用したり、手話で表す都道府県コーナーを入れたり、あらゆる児童にとって活用しやすいように工夫されている。
総括	<p>社会的な見方・考え方を働かせ、位置や空間的な広がりに着目できるよう、デザインやレイアウトが工夫されている。地図のなりたちや方位、地図記号などを解説するページを多く設け、初めて地図帳を手にする3年生にも親しみやすい構成になっている。SDGsの視点を全体的に取り入れ、持続可能な社会を実現するための考え方を育めるように工夫されている。</p>	

第25採択地区教科用図書採択協議会

【小学校】研究調査報告書

種目名（算数）

項目	新しい算数（2・東書）	
小学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学びのとびら」において、問題解決の過程における大切な視点を示し、主体的・対話的な学びを体験できるよう工夫がされている。ノート作り方の例や学習のすすめ方で学びのつながりを活かすように構成されている。目次に單元ごとの系統図がわかりやすく示されている。 ○ 数学的な見方・考え方や数学的活動の価値を実感して習得できるように構成され、可視化できるように工夫されている。 	
特色	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習の過程が見通しをもって展開できるように構成されている。現実の場面で問題解決に活用する「いかしてみよう」「たしかめよう」など、知識及び技能の定着を確実にし、補充の問題でさらに理解を確かなものにする構成になっている。 ○ 図・言葉・式などの関連が丁寧に示されており、数学的活動がしやすい。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 問題解決の視点が吹き出しで示され、理解につなげていく構成になっている。「それなら次は」は、さらに新たな課題を見出す発展的なものにつなげている。 ○ 思考や表現をする例示が適切であり、複数の考え方を促す工夫がある。 ○ テープ図などが系統的に理解できるように構成されている。 <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「つないでいこう算数の目」では、数学的な見方・考え方に焦点化した問題で、単元を振り返る工夫がされている。また、生活や次の学習へつなげていくように工夫されている。 ○ 子どもの考えが図や式等で丁寧に表示され、次につながる問題が各単元に用意されている。主体的に課題を解決していくように工夫されている。 	
	資料	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料は算数の身近さや有用性を味わえる内容に加え、社会や自然の事象が、絵と写真で取り上げられている。 ○ 全学年に、数学的活動に使う資料ページが設けられており、切り取り用教具にはミシン目がはいつている。 ○ 巻頭には、ノート作り方、算数の有用性を感じる「私と算数」が示され、巻末には、補充問題、学習に必要な既習事項がまとめられている。
	表記表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新しい用語や記号、単位は太字で書かれ、読み方や書き順が記されている。 ○ 定義、公式、重要事項、計算の仕方等は、囲みや色付けで強調されている。 ○ 数学的な見方・考え方やヒントは、キャラクターの吹き出しや囲み等で記されている。
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学びのとびらでは、「学習の展開」「学習のすすめ方」「ノート作り方」で学習が進められるようになっている。 ○ 主体的、対話的深い学びの実現のための問題解決型を想定した構成・展開になっている。 ○ 「いかしてみよう」「たしかめよう」「つないでいこう」でまとめている。ノートづくりに視点を置いた工夫がある。 	

第25採択地区教科用図書採択協議会

【小学校】研究調査報告書

種目名 (算数)

項目	たのしい算数 (4・大日本)
小学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元導入や毎時の導入では、児童にとって身近な題材が扱われていたり、具体物やイラストを用いて問題場面が示されたりしており、児童自身が疑問や課題を見だし、主体的に学習に取り組めるようになってきている。 ○ 「算数の学び方」では、ノートの書き方の例が示され、表現力の育成ができるようになってきている。また、発表のポイントや聞くときの姿勢も示され、対話的で深い学びに役立つようになってきている。
特色	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 毎時間の適用問題は十分な量が確保され、基礎・基本を確実に身に付けることができるようになってきている。ほぼ全ての適用問題に巻末補充問題「プラス・ワン」と解答コンテンツがついており、習熟度に合わせて活用できるように工夫されている。 ○ 線分図やイラストが多く使用され、基礎・基本の定着ができるように工夫されている。学習の理解を深めたり技能を定着させたりするためのデジタルコンテンツも多数ある。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各単元の主要が「じっくり深く学び合おう！」と位置づけられ、問題解決学習の流れがイラストを使って示されている。解決方法を言葉で説明したり、図や式を結びつけたりする場面が掲載され、数学的な表現力を伸ばすことができるよう工夫されている。 ○ 数学的な見方・考え方を働かせたい場面で登場するキャラクターの吹き出しが、思考へのきっかけを効果的に与えている。 <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 宝箱のマークが付いているページでは「ひらめきアイテム」を獲得できるようになっている。また、学年の終わりにはひらめきアイテムが全て集まり、数学的な見方・考え方を統合することができるように工夫されている。 ○ 1～3年生では「おうちで算数」が設けられており、学習したことを家庭生活に活かすことができるよう工夫されている。
	<p>資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 資料は身近な内容に加え、社会や自然の事象が、絵と写真で取り上げられている。 ○ 全学年に数学的活動に使う資料のページが設けられており、切り取り用教具にはミシン目が入っている。 ○ 巻頭に、問題解決的な学習の取り組みやノートの書き方の例、算数で使う大切な考え方がまとめられている。
	<p>表記表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新しい用語や記号、単位は太字で書かれ、読み方や書き順が示されている。 ○ 定義、公式、重要事項、計算の仕方等は、囲みや色付けで強調されている。 ○ 数学的な見方・考え方やヒントは、キャラクターの吹き出しや囲み等で記されている。
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習の見通しを持たせる単元の導入から「たしかめ問題」への流れが統一され、考えを深めていくように展開が工夫されている。 ○ 上下巻ではなく1冊で構成され、年間を通した振り返りができるようになっている。 ○ 生活の中で算数を活かすような工夫や、算数の楽しさを味わうことができるような工夫がある。

第25採択地区教科用図書採択協議会

【小学校】研究調査報告書

種目名（算数）

項目	みんなと学ぶ（11・学校図書）	
小学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○ すべての子どもが自ら学び、みんなと学ぶことのできるように、「巻頭ページ」「本単元」「特設ページ・巻末ページ」の3つの部分で構成されている。 ○ 身近な事象が題材として取り上げられ、個々が主体的に問題を発見し、みんなで対話的に課題解決するように工夫されている。 	
特色	<p><知識及び技能が習得できるようにするための効果的な工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元のはじめに「はてなを発見」があり、イラスト形式の読み物にすることで、より身近な話題としてスムーズに単元に入ることができるように工夫している。そして巻末に準備の問題をまとめ、既習事項の確認ができるようにしている。 ○ 全国学力・学習状況調査などで正答率が低い「二次元表の読み取り（4年）」や「単位量当たりの大きさの意味理解（5年）」など、つまずきやすい内容を「算数パトロール隊」というページに掲載している。各領域の内容をまんべんなく取り扱っている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための効果的な工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 複数の考えが出てくるような課題では、様々な考え方を示し、授業でも学びに広がりをもてるようにしている。 ○ 「はてなをかいけつ!」「つなげたいな」では、「条件を変えると」や「この場合は」など、新たな疑問を促すきっかけを与えている。 ○ 「ノート名人になろう」では、ノート作りのポイントを提示し、表現力を育む素地を養うことができる。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための効果的な工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「算数をつかって」では、算数の学びの中で身につけた力を、社会へと広がっていく力になる資料がある。SDGs 中の「ハザードマップを作る」や「節水について」など1年生から学期ごとに取り扱っている。 ○ 1・3年の「プログラミングのプ」では、「toioTM」を使って授業を行うことができる。 	
	資料	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料は身近な内容に加え、社会や自然の事象が、絵と写真で取り上げられている。 ○ 全学年に、数学的活動に使う資料のページが設けられており、切り取り用教具にはミシン目がはいつている。 ○ 巻頭に、学び方や算数でよく使う考え方が示されている。AB版の教科書は、紙面が整理され見やすく、教科書の上でも作業しやすい。
	表記表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新しい用語や記号、単位は太字で書かれ、読み方や書き順が記されている。 ○ 定義、公式、重要事項、計算の仕方等は、囲みや色付けで強調されている。 ○ 数学的な見方や考え方やヒントは、キャラクターの吹き出しや囲み等で記されている。 ○ UD フォントでカラーバリアフリーのため、見やすく区別しやすい色やデザインである。 ○ 巻末の「この本でできたことば」では、日本語表記とともに英語表記もされている。
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元がイラスト形式の読み物で、子どもたちの好奇心をかきたてることができる。また、9つの考え方モンスターによる「見方・考え方」は親しみをもって活用でき、さまざまな知識や考え方の定着が図れるように工夫されている。 ○ 1～5年生は上下巻、6年生は1冊にまとまっている。 	

第25採択地区教科用図書採択協議会

【小学校】研究調査報告書

種目名 (算数)

項目	小学 算数 (17・教出)	
小学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主体的・対話的で深い学びに向けて、学びのサイクルが生まれるように毎時の授業が「はてな→なるほど→だったら」の流れで構成されている。 ○ 見いだした数学的な見方・考え方を顕在化し、次の問題解決にもう一度活用することで学びを深めることができるよう「つながるミカタ」が設けられている。 ○ 生きてはたらく知識・技能を習得できるよう、作図や測定動画、シミュレーション、プログラミング教材等のデジタルコンテンツが豊富についている。 	
特色	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末の「学びのマップ」では、学年を超えて既習事項を振り返ったり、今の学習内容とのつながりを確認したりすることができるように工夫されている。 ○ 単元末の「学んだことを使おう」では、つまずきのポイントを支援する「考えるヒント」がついており、既習事項を振り返りながら取り組むことができる構成になっている。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「つながるミカタ」によって、単元全体を通して数学的なミカタ・考え方を働かせ、身に付けることができる構成になっている。巻頭には前学年までの数学的な見方・考え方がついており、繰り返し参照できるようになっている。 ○ 単元末の「学んだことを使おう」、学年末の「算数を使って考えよう」では、算数の学習と日常の場面をつなげることで、算数のよさを実感しながら読解力や表現力を育てることができるよう工夫されている。 <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新学期の初めに授業開きの特設教材があり、問題解決の楽しさを味わいながら学習の進め方や学ぶ態度を学級で共有することができるようになっている。 ○ 単元導入では身近な題材から算数の問題を発見し、目的意識を持って数学的活動に取り組むことができるよう工夫されている。単元末では学んだことを日常場面に活用する問題場面を扱うことで、できるようになったことを実感できるような構成になっている。 	
	資料	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料は身近な内容に加え、社会や自然の事象が、絵と写真で取り上げられている。 ○ 全学年に数学的活動に使う資料のページが設けられており、切り取り用教具にはミシン目が入っている。 ○ 巻頭には問題解決的な学習の取り組み方、途中にはノートの書き方の例、巻末には既習事項がまとめられている。
	表記表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新しい用語や記号、単位は太字で書かれ、読み方や書き順が示されている。 ○ 定義、公式、重要事項、計算の仕方等は、囲みや色付けで強調されている。 ○ 数学的な見方・考え方やヒントは、キャラクターの吹き出しや囲み等で記されている。
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎時の学習が、問いの連続でつくる学びのサイクルで構成されており、主体的・対話的で深い学びを促す構成になっている。 ○ 既習事項を活かして問題解決をする流れにより、学習のつながりを実感しやすい。 ○ 中学校の学習につながる発展的な内容が扱われていたり、巻末に選択的に扱える練習問題がついていたり、様々な教育課題に対応している。 	

第25採択地区教科用図書採択協議会

【小学校】研究調査報告書

種目名（算数）

項目	わくわく算数（61・啓林館）	
小学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の「めあて」につながる「めばえ」があり、学びやすい。また、「めあて」とそれに対応した「まとめ」を例示している。子どもたちが自ら問いや見通しをもって主体的・協働的によりよい解決に向かうことができるような構成になっている。 ○ 数学的活動の場面を多く取り扱い、思考力・表現力を高める工夫がある。 	
特色	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「じゅんぴ」が単元のはじめにあり、生活に即した内容を取り上げ、児童の興味を引くように工夫している。 ○ 習熟の練習問題では、筆算の形で載っていることがあり、書き間違いに配慮している。 ○ QRコードを読み取ると、各単元に「スマートレクチャー」という丁寧に解説している動画がある。児童が分からなかったときの復習として活用できる。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 登場人物からいろいろな考え方が引き出されるよう工夫している。また、ノートの書き方など参考になるページがある。 ○ 数直線（やテープ図、線分図）だけでなく、関係図も同じくらい取り扱い、子どもたちにとって理解しやすい方を選択することができる。 <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ プログラミング学習では、QRコードを読み込むと Scratch とオリジナルコンテンツにつながる。また、3年生以上の学年には、SDGsに関する資料を読み取り、自分たちに何ができるかを考えるページが巻末にある。 	
	資料	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料は身近な内容に加え、社会や自然の事象が、絵と写真で取り上げられている。 ○ 全学年に、数学的活動に使う資料のページが設けられている。「べんりなものさし（2年）」「てんびん（3年）」「円周測定マシン（5年）」などユニークなものがある。 ○ 巻頭には、教科書の使い方や、問題解決的な学習の取り組みや、ノートの書き方例がある。巻末には「学びをつなげよう」という算数でよく使う考え方や作図の仕方等が示されている。 ○ 指導書には、板書ブックがあり、毎時の板書と展開例がある。
	表記表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新しい用語や記号、単位は太字で書かれ、読み方や書き順が記されている。 ○ 定義、公式、重要事項、計算の仕方等は、囲みや色付けで強調されている。 ○ 位取り表は、「一の位」～「千の位」をピンク、「一万の位」～「千万の位」を黄色というように、色分けされている。 ○ UDフォントや色覚の個人差を問わない配色デザインのMUDを採用している。 ○ 数学的な見方や考え方やヒントは、キャラクターの吹き出しや囲み等で記されている。また、キャラクターは、外国にルーツをもつ子やジェンダー・福祉にも配慮している。
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習の流れはどの単元も「じゅんぴ」で既習事項を確かめてから深めている。また、発展する問題を取り上げ、論理的な思考力を高める工夫がある。QRコンテンツが充実しており、特に解説動画（スマートレクチャー）では、学年を超えて学び直しができたり、予習に活用したりすることもでき、さまざまな子供に対応している。 ○ 1年は、薄い冊子ともう1冊、2～4年は上下巻、5・6年は1冊にまとまっている。 	

第25採択地区教科用図書採択協議会

【小学校】研究調査報告書

種目名（算数）

項目	小学算数（116・日文）
小学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主体的・対話的で深い学びに向けて「新しい学習のじゅんび」「毎日の学習」「学習のたしかめ」「学習のあとに」の流れで構成されている。「算数マイトライ」では、よりよく問題解決をする態度の育成ができるようになっている。 ○ 「算数ノートをつくろう」では、学習の見通しがもてるように展開している。「じぶんで」「みんなで」「ふりかえり」の活動場面を設定し、学習を深める工夫がある。
特色	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「次の学習のために」で既習事項を確認後、単元に入り、「わかっているかな」「たしかめよう」で基本事項の定着が確認できるようになっている。「まちがしやすいもんだい」を取り上げて、知識・技能の定着につなげている。 ○ 図・言葉・式などの関連が丁寧に示されており、数学的な活動がしやすい。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「自分で みんなで」では、学び合う視点を示し多様な考え方を引き出す展開になっている。学習の過程で、イラストの子供の吹き出しから思考力を高めるように工夫している。「見方・考え方をみがこう」では、数学的な見方・考え方を確かなものになるような問題を取り上げている。 ○ デザインや図に説明しやすい工夫がある。キャラクターや6人の子供たちの吹き出しが、思考へのきっかけを効果的に与えている。 <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「ぐっとチャレンジ」「もっとジャンプ」など、学びを広げる多彩な問題がある。「算数ジャンプ」では、他教科や日常生活を結び付け、学習意欲を高めている。 ○ 身の回りにあるものを活かすページが多くある。「使ってみよう」では、数学的活動の具体的なイメージを持ち、学習したことを深めるように工夫している。
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料は身近な内容に加え、社会や自然の事象が絵と写真で取り上げられている。 ○ 全学年に、数学的活動に使う資料のページが設けられており、切り取り用教具にはミシン目がはいつている。 ○ 巻頭にはノートの書き方・教科書の使い方、巻末に豊富な問題・既習事項や問題解決的な学習の進め方や算数で使いたい言葉がまとめられている。学びのステップや見方・考え方を整理した一覧表が、切り取って使えるようになっている。
表記表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新しい用語や記号、単位は太字で書かれ、読み方や書き順が記されている。 ○ 定義、公式、重要事項、計算の仕方等は、囲みや色付けで強調されている。 ○ 数学的な見方・考え方やヒントは、キャラクター吹き出しや囲み等で記されている。
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○ 算数の学習の進め方を明確にし、問題解決型における視点を示して、子供たちの主体的な学びを促す構成になっている。 ○ 6人の児童と一緒に学習していく設定になっており、1時間の授業の流れが分かりやすく示されている。また、ふり返りの視点や具体的な姿を示して、ふり返りの充実を図っている。

第25採択地区教科用図書採択協議会

【小学校】研究調査報告書

種目名（ 理科 ）

項目	新しい理科 (2・東書)
小学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「理科の学び方」に「のぼそう！理科の力」として各学年の理科の目標で重点となることが記されているため、どのような力を身につければいいか分かりやすい。 ○ 各学年で働かせるべき理科の見方・考え方をキャラクターの「なんだパンダ先生」が登場することで示している。
特色	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元末の「たしかめよう」では、重要な知識及び技能の設問が用意されている。また、「思い出そう」として設問に関連のあるページも記されているため、振り返りやすくなっている。 ○ 実験操作の技能を習得するために、図や写真で説明しているだけでなく、QRコードを読み込むとその説明動画を見ることができ、結果等はデジタルワークシートに記入できるよう工夫されている。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「まとめ」の後に「広げよう！理科の発想」が設定されていて思考力を発揮できるよう工夫されている。 ○ 「ふりかえろう」が手書き風で記載されているため、どのようにまとめると分かりやすいか考えることができる。 <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の導入の「レッツトライ！」では写真から考える工夫がされているため何を学ぶのかを考え、理解できるように工夫されている。 ○ 「理科の世界たんけん部」では生活や社会で活用されている場面、キャリア教育の視点も組み込まれている。 ○ たしかめようでは「説明」が基本となっており、知識及び技能だけでなく、思考力・判断力・表現力の育成にもつながる。
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末に「理科室の使い方」や「実験器具の使い方」がまとめられているため確認がしやすいように工夫されている。 ○ デジタルコンテンツに、動画をもとに考える「デジ問」という練習問題も入っている。 ○ QRコード、理科ノートがワークシートとしても活用しやすい。動画の他にドリルなども活用でき、多面的にデジタル教材を活用できる。 ○ 各学年の巻末にプログラミングについてまとめられている。
表記表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ UD書体を採用し、字形を判別しやすく読み間違いにくいよう工夫されている。 ○ 基本的に見開きのページで「問題・実験観察」、「結果・まとめ」になっている。 ○ 重要用語は太字で下線が引かれている。 ○ イラストと写真がミックスされておりわかりやすい。
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○ 判型はA4判が採用されているため、図や写真が大きく掲載されている。 ○ 表紙に各学年の理科の見方・考え方を掲載し、意欲が向上するように工夫されている。 ○ 人権や国際理解に配慮されており、多国籍のキャラクターやモデルを採用し多様性を尊重している。

第25採択地区教科用図書採択協議会

【小学校】研究調査報告書

種目名（ 理科 ）

項目	たのしい理科 (4・大日本)
小学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「理科の学び方」に「～では、特にココ！」として各学年の理科の目標で重点となることが記されている。その重点をキャラクターが「例えば～」と具体的に説明している。 ○ 問題探求から結論までの問題解決の流れを学習過程ごとに緑、黄、青に色を変えて、見通しをもって学習ができるように配慮されている。
特 色	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「結論」は枠で囲われて重要なことが端的にまとめられている。より詳しい説明を区別して記載されている。 ○ 単元末の「確かめよう」では知識の確認を行うとともに「説明しましょう」という設問が多く設定されている。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「計画」の場面ではキャラクターの吹き出しや図を多用してどのように調べればいいのか思考できるよう工夫されている。 ○ 「学んだことを生かそう」や「チャレンジ問題」では学習したことを使って表現できるよう工夫されている。思考力、判断力、表現力等を一層育成できる仕組みになっている。 <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「りかのたまてばこ」、「サイエンスワールド」が各小単元に複数設定されていて、自然現象が日常生活でどのように活用されているかが分かる仕組みになっている。 ○ 単元の導入では身近な生活の内容から入っているものが多く、単元の見開き部分や「問題を見つけよう」では、挿絵の子どもの吹き出しで、児童の思考を助け、主体的に学習が進むよう工夫されている。 ○ 「ふりかえろう」で学びを振り返るとともに、次の学びにつなげる工夫がある。
	<p>資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末に実験器具の使い方がまとめられている。必要な時にはそのページが記されている。 ○ 地域の活動や博物館の活用についてのページがあり、学びを確かめる、広げる配慮がされている。 ○ 授業の流れの中でQRコードによる参考情報が活用できるよう工夫されている。
	<p>表記表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ UD書体を採用し、字形を判別しやすく読み間違いにくいよう工夫されている。 ○ 「科学技術」や「防災」などのマークがあり、関連性が分かるよう配慮されている。 ○ 「見つけよう」、「調べよう」、「伝えよう」でページの色が区別され見やすくなっている。 ○ 重要語句は太字で表記されている。
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○ 判型がA4判のため、ダイナミックな写真や図が掲載されている。 ○ 「図書館の本で調べるよう」が設定されていて図書館の活用につながる。 ○ 理科への興味関心が高まるよう漫画で説明しているページが多くある。 ○ 安全に配慮が必要な場面には、赤で「注意」のマークを配置し、注意を促す手立てがなされている。

第25採択地区教科用図書採択協議会

【小学校】研究調査報告書

種目名（ 理科 ）

項目	みんなと学ぶ小学校理科 (11・学図)	
小学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領で示されている育成すべき資質・能力を「理科モンスター」として表し、教師、児童自身も見通しを持って学習に臨めるようになっている。 ○ 教科書の巻頭で、理科としての見方をわかりやすい言葉で表し、それぞれの場面で「比べる」「関係づける」「条件をそろえる」等の考え方を示して、学習しやすいようにしている。 	
特色	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 誤った理解がされてしまいがちな内容について、確かめる活動や説明活動を取り入れて確かな理解がされるよう、工夫されている。 ○ 実験器具の使い方を巻末「考えよう調べよう」にまとめて掲載し、確認しやすくしている。また、QRコードを実験器具の説明に用い、イメージしやすいように工夫されている。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習したことを応用する場面や、ものづくりや身の回りの事象に適用し説明をするなどの活動を通して、力がつけられるように工夫がされている。 ○ 伝え合い、聞き合いができるように、相手がわかりやすい伝え方・聞き方を具体的な場面をもとに児童がとらえやすいように記載されている。 ○ ノート例を掲載し、書きながら自分で考え、記録を作ることができるようになっている。 ○ 単元末の「ふりかえろう」で、確実な知識及び技能の習熟と「活用」の説明活動を通じた思考力・判断力・表現力の向上を図ることができる。 <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元末の振り返りでは言葉で説明する場面を設け、児童の「わかったつもり」を確認して学びなおしができるように工夫がなされている。 ○ 「できるようになった」では、見通し「できるようになりたい」の振り返りを行うことができる。 ○ SDGs「もっとしりたい」では自分の身の回りにある問題を提示することで、教材としてのかしこまったものではなく、身近にある自分事としてSDGsを理解できる。 	
	資料	<ul style="list-style-type: none"> ○ 理科室の使い方については、簡潔に箇条書きにして、児童に分かりやすく示している。 ○ 豊富なQRコンテンツを掲載して、児童が必要に応じて学習しやすいようになっている。 ○ 巻末に実験器具の操作方法が詳しく説明されている。細切れの写真でも細かく説明されている。
	表記表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ UD書体を採用し、字形を判別しやすく読み間違いにくいよう工夫されている。 ○ カラーユニバーサルデザインの考え方にに基づき、判別しづらい色使いは避けるとともに、実験での試薬の変化などは色名をきちんと明記している。 ○ 通常の文字と太字の差が大きく、太字が分かりやすい。
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○ AB判のサイズを採用し、机上に物が多い時でも開きやすいように工夫がなされている。 ○ 写真、コンテンツ、QRコードを豊富に活用して、個別最適な学びを進めることができる。 ○ コミカルなキャラクター、ポップな表紙のデザインにより児童の関心意欲が高まる。 	

第25採択地区教科用図書採択協議会

【小学校】研究調査報告書

種目名 (理科)

項目	未来をひらく小学理科 (17・教出)	
小学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「見方のカギ」「考え方のカギ」マークにより、理科の見方・考え方を働かせて考える場面を視覚化している。 ○ 学習の進め方がマニュアル化(問題・観察実験・結論)されることで、見通しを持って観察、実験を行うことができる工夫となっている。 	
特色	<p>内容</p> <p><知識及び技能が習得できるようにするための効果的な工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末に、1年間の学習で学んだことを一覧にし、1年間の学習の積み重ねを実感するための工夫がされており、振り返りに活用できるように配慮されている。 ○ 巻頭にノートを取り方を設け、問題解決の過程、観察実験で得られた結果を記録しやすいように工夫されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための効果的な工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「問題」を立てる前段階で「見つけよう」が設定しており、写真や挿絵の吹き出しから、日常生活や身近な事象を基に考えながら、児童自ら問題を見出せるように配慮されている。 ○ 「学びをひろげよう」では、学習内容を基に考え、説明したり、調べたりする場面が設定されており、思考力とともに表現力の育成を図っている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための効果的な工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の主人公を決め、その主人公と一緒に問題を解決していくように進めているため、自分意識を持ちやすくなっている。 ○ 「結果から考えよう」では、予想と結果の一致・不一致を考える児童の姿を表現し、見通しを持つことの重要性が分かるように工夫されている。 ○ 中学校で学ぶ内容が「発展」としてあり、小中連携の視野を持って児童の興味関心を高めることができる。他教科とのつながりが明記されており、教科横断的に内容を理解できる。 	
	資料	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人間の体の中の様子(6年)が原寸大で実感を伴って理解することができる。 ○ 安全、防災、減災、SDGsなど豊富にコンテンツが用意されている。 ○ まなびリンクでは授業で映像資料を活用でき、児童のタブレットを活用すれば自主学習にも活用できる。Web図鑑が便利である。 ○ QRコードの学びリンクで既習内容の確認ができる。
	表記表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ UD書体を採用し、字形を判別しやすく読み間違いにくいよう工夫されている。 ○ 重要な用語については、太字での強調とマーカーライン処理をして目立たせている。 ○ 問題解決の過程が見やすいように上から下に流れるようなデザインを施し、学習の流れと同じように教科書を使うことができる。
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習の流れがマニュアル化されており、学びやすくなっている。マニュアル化されることにより、児童・教師共に見通しを持って学習に取り組むことができる。 ○ 理科の安全の手引きが裏表紙にあり、いつでも確認ができる。 	

【小学校】研究調査報告書

種目名 (理科)

項目	わくわく理科 (61・啓林館)
小学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末の「理科の見方・考え方」では、問題解決をする具体例を示し、「理科の考え方が役に立ったよ！」では、理科を学ぶ意義や有用性の実感につながる工夫をしている。 ○ 問題解決の流れを見える化した「学びのサイクル&ライン」で見通しをもって観察実験に取り組むことができるようになっている。
特色	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元末に「まとめノート」を設定し、学習の要点を振り返り、整理することができるようになっている。また、「新しく学習した言葉」で用語の定着を図っている。QRコードを読み取ることで、フラッシュカード形式の補充問題に取り組めるようにしている。 ○ 単元末の問題では理解度に応じて「スマート解説」を視聴することで、個別最適で確実な定着が図られるようにしている。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「これまでの学習をつなげよう」では、複数の単元や学年にまたがった内容から、知識を関連付けて思考する力がつくよう工夫されている。 ○ 「考察しよう」では、キャラクターの吹き出しに、見方・考え方マーカーを付け、思考力、判断力、表現力等を一層育成できるよう配慮されている。 <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 問題の前に「問題をつかもう」を設定し、児童同士の話し合いから主体的に問題が見いだせるように工夫している。 ○ まとめ後に、「もっと知りたい」を設定し、深い学びの実現と、新たな問題発見への意欲を高められるようにしている。 ○ 単元末の「くらしとリンク」は、学習内容と身近な科学、社会生活とが深くかかわっていることが理解できるよう工夫されている。
	<p>資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「理科につながる算数のまど」では、既習の算数の内容を理科の学習の具体例で取り上げ、算数との連携を図りやすくしている。 ○ 巻末に「オッターの資料室」があり、「書く」「伝える」「算数のまど」「ものづくり広場」が用意されている。また、豊富なQRコンテンツが用意されている。
	<p>表記表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ UD書体を採用し、字形を判別しやすく読み間違いにくいよう工夫されている。 ○ MUDの観点を取り入れた配色・デザイン・表現となっている。また、3、4年生と5、6年生でフォントサイズを変えるなどの、発達段階に応じた工夫が見られる。 ○ ワイド判のサイズにすることにより、机上でのスペース確保につなげている。また、目からの情報受容にも適した形状をしている。
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭で、ICTの活用場面と目的が分かるような工夫や、イラストデータ集の活用により、表現活動を豊かにできるようにしている。 ○ 日常生活で役立つ見方・考え方を漫画形式で紹介することにより、児童の意欲を高め、理科と日常のつながりを意識できるようにしている。

【小学校】研究調査報告書

種目名 (生活)

項目	<p>どきどき わくわく あたらしい せいかつ 上 あしたへ ジャンプ 新しい 生活 下 (2・東書)</p>	
小学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 具体的な活動や体験が他者との関わりの中で充実したものになるよう、仲間との交流の学習を大きな写真で多く取り上げるなどの工夫をしている。 ○ 生活科の見方・考え方を生かす姿をイラストや吹き出しを用いて具体的に例示している。 	
特色	<p><知識及び技能が習得できるようにするための効果的な工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見開き右ページ上の「やくそく」や巻末の「かつどうべんりてちょう」で、学習活動の展開に即して身に付けたり、注意したりすることが望まれる生活上必要な習慣や技能を明示している。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための効果的な工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「学びをふかめる」として、イラストや吹き出しを用いて児童が思考する姿を具体的に例示し、気づきの質を高めることができるようにしている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための効果的な工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童がいきいきと活動する写真や、見開きでの大きな写真を掲載し、活動がイメージでき児童の意欲を喚起する工夫をしている。 	
	資料	<ul style="list-style-type: none"> ○ イラストの色合いやタッチが柔らかであり、全体的に統一感がある。 ○ 活動に即して身に付ける習慣や技能、学び方をまとめた資料を掲載している「かつどうべんりてちょう」を巻末に掲載している。
	表記表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各小单元において、主に育成を目指す資質や能力が、マーク（「♡」「?」「!!」）で明示されている。 ○ インクルーシブ教育の視点から、外国にルーツのある児童、障がいのある児童、高齢者など、多様な人々の姿を掲載している。
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○ 原寸大の絵や写真を掲載しており、児童の実生活で活用し、活動の幅が広がるよう工夫している。 ○ 小单元、本文、マーク、「やくそく」など、すべての单元で同じ紙面配置をしたり、单元ごとに配色を変えたりし、ユニバーサルデザインに配慮している。 	

【小学校】研究調査報告書

種目名 (生活)

項目	<p>たのしい せいかつ 上 だいすき たのしい せいかつ 下 ひろがれ (4・大日本)</p>
小学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 具体的な活動や体験活動を重視する学習ができるよう、活動の導入から終末までの展開が分かるように構成している。 ○ 学習したことについて、継続的に取り組んだり、実生活でも生かしたりすることができるよう単元構成を工夫している。
特色	<p>内容</p> <p><知識及び技能が習得できるようにするための効果的な工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 活動に役立つ資料として、巻末に「がくしゅうどうぐばこ」を掲載し、学習に必要な知識や技能が身につけられるようにしている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための効果的な工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 子供の感性を刺激し、意欲や想像力・表現力を高める写真が掲載され、子供の気づきや学びを深める工夫をしている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための効果的な工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 無理のない振り返りができるように「きもちマーク」を取り入れ、活動を通して満足感や成就感、自信を感じることができるようになっている。
	<p>資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の考えを直接書き込んだり、切り取って活用したりすることができるワークシートを掲載している。 ○ SDGs マークを掲載し、自分の生活や学習の中で継続して取り組んでいけることに目を向けさせる工夫をしている。
	<p>表記表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「きらきらことば」「せいかつことば」等のコーナーを設け、子供の語彙力の向上を図る言葉を紹介している。 ○ どんぐりのキャラクターが全体を通して登場し、子供の思考を促すヒントや活動の注意事項を伝えている。
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の考えを書くスペースを設け、子供の主体的な学びにつなげる工夫をしている。 ○ 子供がいきいきと活動する様子を伝えたり、感性を刺激したりする魅力的な写真、子供の興味・関心を高める活動へ引き込む資料などを、多く掲載している。

【小学校】研究調査報告書

種目名 (生活)

項目	みんなとまなぶ しょうがっこう 生活 上・下 (11・学図)	
小学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身近な人々や自然と直接関わる場面設定が多く、対象と繰り返し関わり、「気づき」を深め、自分自身との関わりで考えられるように学習例を設定している。 ○ 活動の補助となる資料が多数掲載され、子供の興味・関心を引き出し、子供の体験の保障をしている。 	
特色	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 子供の活動の補助となる資料「ものしりノート」が掲載され、学習の基礎的知識を身に付けることができるようにしている。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 記録カードの書き方のヒントを示したり、工作物や新聞など、表現活動を多様な例で示したりし、活動の充実を図る工夫をしている。 <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習の終わりに、「もっと○○したいな」という資料が掲載され、今後の活動や実生活に結びつくようにしている。 	
	資料	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ものしりずかん」「ものしりノート」「まなびかたずかん」など、今後の生活や主体的な学びにつながる資料を多く掲載している。 ○ 効果的なアングルの写真等、子供の興味をかきたてる資料を掲載している。
	表記表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習内容を理解しやすいイラスト、單元ごとに色を分ける配色、統一した紙面構成等、ユニバーサルデザインに配慮している。 ○ 多様な家族関係に配慮した写真を掲載している。
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子供が見通しをもって学習に取り組めるよう活動の流れを示している。 ○ 学習サイクルを明確にし、気づきを高めることにより、生活を豊かにしようとする学びの意欲を高めることができるようにしている。 ○ 子供が主体的に学ぶために活用できる資料を豊富に掲載している。 	

第25採択地区教科用図書採択協議会

【小学校】研究調査報告書

種目名 (生活)

項目	<p>せいかつ 上 みんな なかよし せいかつ 下 なかよし ひろがれ (17・教出)</p>
小学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活科の目標から、子供から引き出したい「6つの力」をサイコロマークで明記し、何を身に付ける活動かを意識化させ、資質・能力を育むことができるようにしている。 ○ 教科書を貫く「はっけんロード」を子供が指でなぞったり目でたどったりすることにより、自分の考えを教科書から見つけさせ、主体的・対話的で深い学びにつながるように構成している。
特色	<p>内容</p> <p><知識及び技能が習得できるようにするための効果的な工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「やくそく」「ヒント」「〇〇できるかな」のコーナーを設定し、活動の中で身に付ける知識・技能や、多様な学習活動のヒント等を示し、学習の気づきを促している。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための効果的な工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習に導くキャラクターとして「いぐら」、主要な登場人物として「はなさん」「ひかるさん」を登場させ、子供が親しみを持ち、共に思考しやすいような言葉を掲載している。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための効果的な工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の扉に「わくわくスイッチ」を設定し、子供が期待感をもって学習に取り組めるようにし、「はっけんかあど」や「ぐんぐんはしご」の絵により、学習の意欲付けや気持ちの振り返りができるよう工夫している。
	<p>資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末の「学びのポケット」で、学習の仕方の資料を掲載し、学習の基盤となる知識や技能を身に付けることができるようにしている。 ○ 植物の生長の変化が分かる写真などを効果的にレイアウトし、次ページが見たくなるような工夫をしている。
	<p>表記表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の扉ページ下部にインデックスを配置し、1年間の活動の見通しをもてるように工夫している。 ○ 紙面構成、レイアウトに統一感があるため、子供が必要な情報を見つけやすい。
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元導入「わくわくスイッチ」、小単元「サイコロ」、教科書を貫く「はっけんロード」等、生活科の学び方を「見える化」し、生活科の資質・能力を育むことができるようにしている。 ○ 「スタートカリキュラム」では幼児期から小学校教育へのつながり、「はってん」では低学年から中学年以降への学びのつながりがもてるよう構成している。

【小学校】研究調査報告書

種目名 (生活)

項目	<p>せいかつ たんけんたい 上 はじめてがいっぱい せいかつ たんけんたい 下 はっけんだいすき (38・光村)</p>
小学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<p>○ 「学び方のヒント」をすべての小単元に設定し、考え方や、活動・表現のヒントを提示している。学びの深め方がわかり、主体的・対話的で深い学びにつなげることができる。</p> <p>○ 単元末に「たのしいまいにちにつなげよう」のコーナーを提示し、単元の学びを日常生活で生かしたり、生活を豊かにしたりするヒントとなるようにしている。</p>
特色	<p>内容</p> <p><知識及び技能が習得できるようにするための効果的な工夫></p> <p>○ 活動や生活の中で身に付けるべき健康・安全に関わる基本的な知識・技能について、赤い文字で示し、子供がより注意を払うことができるようにしている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための効果的な工夫></p> <p>○ 小単元ごとに「ふりかえろう」のコーナーを設定し、感情と思考・態度の両面を振り返らせ、さらに単元末の振り返りでは、多様な表現形式を提示し、自分の言葉で表現できるようにしている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための効果的な工夫></p> <p>○ 単元の扉のページは、いきいきとした子供の活動場面の写真と単元名、イラストとつぶやきで構成し、子供の興味・関心を高める工夫をしている。</p>
	<p>資料</p> <p>○ 巻末資料「ひろがる せいかつじてん」、カード「○○ (季節) のなかまたち」は、活用しやすいように切り離すことができる。コーティングされた紙を使用しており、屋外での使用にも耐えうる作りになっている。</p> <p>○ 単元末には「もっとやってみよう」のコーナーを設定し、子供の日常生活への意欲付けや活動の継続、広がりが図れるようになっている。</p>
	<p>表記表現</p> <p>○ 子供の目を引くかわいらしく印象的なイラスト、手書き風のフォントにより、親しみやすく温かな雰囲気を醸し出している。</p> <p>○ QRコードを囲むキャラクターをデザインし、目を引く工夫をしている。</p>
総括	<p>○ 子供が親しみを感じるようなイラストを、全体を通して掲載し、子供が生活科に興味・関心や期待感をもてるようにしている。</p> <p>○ 絵本作家「ヨシタケシンスケさんコーナー」では、うまくいかない子の本音などの内容を盛り込み、失敗しても体験を楽しんだり、挑戦したりすることができる子供の育成を図っている。</p>

【小学校】研究調査報告書

種目名 (生活)

項目	わくわく せいかつ 上 いきいき せいかつ 下 (61・啓林館)	
小学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習過程の基本にのっとり、単元の流れを「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」の3段階で構成し、主体的・対話的で深い学びの実現ができるよう工夫している。 ○ 見開きページ右下に「めぐり言葉」を配置し、活動の中で生まれた気づきや、次の活動への思いや願いとなる言葉を示し、主体的な学びにつなげている。 	
特色	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 3つの図鑑が掲載されている。「がくしゅうずかん」では、観察日記で観察の仕方の具体例を提示するなど、基本的な知識・技能や学び方を身に付けることができるよう工夫している。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「みつける」「くらべる」「ためす」「くふうする」など、「学びのキーワード」とともに、多様な学習活動の例を示し、子供が思考を働かせ、気づきの質を高めることができるようにしている。 <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「できるかな できたかな？」のコーナーでは、育てたい資質・能力をイラストと言葉で示し、自分自身の活動を振り返ることができるようにし、「ひろがるきもち」のコーナーでは、次の活動への意欲をもたせるようにしている。 	
	資料	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「びっくりずかん」「デジタルたんけんブック」など、子供の知的好奇心をかきたてる資料を豊富に掲載している。 ○ 子供が学習の見通しやイメージを持ちやすいよう、学習場面の挿絵に、板書のイラストを多く掲載している。
	表記表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の流れの3段階「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」を、3色のインデックスで明示し、子供が単元の見通しをもてるよう工夫している。 ○ 「おもちゃの作り方」などの資料は、写真とイラストを組み合わせ構成し、子供がイメージを持ち、理解しやすくなるようにしている。
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○ QRコンテンツが豊富である。教科書とQRコンテンツを活用することにより、子供の「実体験」を豊かに広げ、楽しく主体的に学べるようにしている。 ○ 教科書のサイズが少し小さいため、軽量であり持ち運びをしやすい。タブレットパソコンと教科書を使う際、机上に置きやすい。 	

第25採択地区教科用図書採択協議会

【小学校】研究調査報告書

種目名（音楽）

項目	小学音楽 音楽のおくりもの (17・教出)	
小学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 表現と鑑賞の活動の支えとなる指導内容を「おんがくのもと」として、各楽曲の見やすい所に共通事項を明示している。高学年には、その横にメモ欄も示され、音楽学習に広がりを持たせ、思考・判断する力の育成を補助している。 ○ 「がくしゅうマップ」が各学年の最初に明示されており、1年間の学習の流れが見える化されている。「豊かな情操を養う」ために扱う楽曲も、具体的に示されている。 ○ 他教科との関わりも意図しており、1年生から外国語の楽曲が取り入れられている。 	
特色	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の活動で取り扱う鍵盤ハーモニカの実物大写真が複数ページに掲載され、学びを支援している。特に、実物大写真は指を置くこともできるため、イメージしやすい。 ○ リコーダー学習が、系統的に示されている。特に、子どもにとって習得し易い配列で、ゆっくりと学習できるように編集され、確実な習得につながっている。 ○ 小2「虫のこえ」では、歌詞に登場する全ての虫の声を、QRコードの読み込みで再生できるようにしている。QRコードは、学習を補助するものとして効果的な内容になっている。 ○ 小2からの「音楽を表すいろいろな言葉」は、子どもの言葉と音楽用語を結びつける指導の手立てとして、有効なページになっている。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 世界的に親しまれている楽曲や以前の共通教材も数多く取り入れるなどして、子どもがイメージしやすい編集になっている。 ○ 小4「さくらさくら」は、日本の楽曲（歌唱）や日本の楽器（器楽）、日本の音楽の響き（鑑賞）で扱うと共に、英語の歌詞も巻末に掲載し、世界に通じる楽曲として子どもの意識を育てている。 ○ 全学年で歌うことができる合唱曲が位置付けられており、子どもたちの思考力、判断力、表現力を全校で整え、共に歌うことができるように工夫されている。 <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「まなびナビ」は、学習のポイントを踏まえた内容として示されており、子どもの学びを方向づけ、その学びから人間性を涵養する工夫がみられる。 ○ 体感を通して学びを深める編集の工夫がみられる。 	
	資料	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小1「おおきなかぶ」、小3「たんいの歌」など、教科横断的な楽曲が掲載されている。 ○ QRコードから導くことができるウェブサイトの動画や音源、ワークシートが充実している。 ○ 巻末の「しぜんのうた」「こころのうた」「きせつのうた」は、保護者や祖父母も口ずさむことができる楽曲を選曲している。 ○ その学年で学ぶ楽曲、用語、資料が使いやすい位置づけで編集されている。
	表記表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「～しよう」「～だね」「～されます」など、問いかげや説明の統一感がある。 ○ 曲の背景や説明は、子どもの目に留まり易い、程よい字数でまとめられている。 ○ キャラクターが、子どもの心情を引き付けるものになっている。 ○ 学習の要となる共通事項が「音楽のもと」として明示されている。
総括	<p>『音楽のもと』まとめ」が、子どもの学習の指針として明確に位置付けられており、分かり易くまとめられている。また、器楽は、指導しやすく、子どもにとっても解り易く、意欲を高める編集になっている。更に、高学年では、中学生への橋渡しとして高度な曲も取り入れられている。指導の指針と子ども視線を意図した工夫が見られる。</p>	

第25採択地区教科用図書採択協議会

【小学校】研究調査報告書

種目名（音楽）

項目	小学生の音楽 (27・教芸)	
小学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「何を学ぶか」「何ができるようになるのか」を明確にし、さらに、どのように学ぶかを示しており、さまざまな学習活動を通して、深い学びに発展していけるように編集されている。 ○ 題材ごとに色分けし、写真やイラストを豊富に取り入れたり、子どもを引きつける簡易な合奏曲を取り入れたりして、楽しく音楽学習が進められる工夫が見られる。 ○ 音楽に親しむ態度や豊かな情操を養う学習がつながるように題材構成されている。 	
特色	<p><知識及び技能が習得できるようにするための効果的な工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ QRコードの読み込みで正しい奏法や手入れ方法を動画で学習することができ、理解力を高めると共に学習に広がりをもたらすことができる。 ○ 学習の柱となる共通事項を見開きの右下に示し、学習のねらいを明確にしている。 ○ リコーダーの学習では、楽曲が演奏しやすい順に編集されている。 ○ 鍵盤ハーモニカやリコーダーの息の入れ方が、イメージしやすく示されている。 ○ 知識・理解事項の学習にQRコードが示され、ワークシートは使いやすい。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための効果的な工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ キャラクターが発する語りや発言・言葉は、学習内容に迫る有効な視点になっている。 ○ 「見つける」「考える」「演奏する」などのポイントは、全ての指導者が同じ視点で、学習のねらいに迫れるように生かすことができる。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための効果的な工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の考えを生かして話し合ったり、協働したりしながら、共に学びを深めていくことができるように工夫されている。 ○ 学年のねらいを涵養的に育てるため、「考える」を明確にし、系統的に位置づけている。 ○ 小3の巻頭ページから日本の音楽家を取り上げたり、作詞家や作曲家を細かく紹介したりして、音楽学習を通して育てる豊かな感性を持った人間性等の涵養を補助している。 	
	資料	<ul style="list-style-type: none"> ○ 低・中・高の学団で「学習マップ」が整えられ、子どもの学びや成長が見えるように工夫されている。 ○ 各学年に位置づけられた「振り返りのページ」は、見やすく、かつ、解りやすくまとめられている。 ○ 小6は総まとめとして、ジャズ、ミュージカル、ゲーム音楽、日本の古典芸能なども取り上げている。
	表記表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ ワークシートのように書き込むことができる「楽譜マスター」があり、使いやすい。 ○ 「発声のイメージ」などの「歌声ルーム」は、具体的で指導に役立つ資料として活用できる。 ○ 吹き出しは、子どもにとって解りやすい内容で記されている。 ○ 「歌いっごう日本の歌」「英語の歌」は、他教科の関わりも意図した選曲となっている。
総括	<p>創作も含め、自分で考えて、それをもとに友だちと考えを交流したり、演奏したり、歌い合わせたりして、楽しく音楽学習に取り組める工夫が見られる。特に、学習のねらいを明確にした学習展開ができる工夫は、多様な教育現場においても確実に学習内容の習得を図ることができるものとなっている。また、英語の曲や「ごんぎつね」など、教科横断的な内容を扱うことができる工夫が見られる。</p>	

第25採択地区教科用図書採択協議会

【小学校】研究調査報告書

種目名（ 図画工作 ）

項目		図画工作（9・開隆堂）
小学校学習指導要領の教科の目標との関わり		<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領における図画工作科の目標を達成するために、（1）知識及び技能（2）思考力、判断力、表現力等（3）学びに向かう力、人間性等を基盤に置いて編集されている。 ○ 各題材では、三つの目標のうち、一つを中心的な目標としてページ中に強調して示し、主な目標に対応したキャラクターが、児童の学習を深める支援をするように配置されている。
特色	内容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための効果的な工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各題材で必要なつくり方や技能・知識は写真やイラストで明示されている。つくり方や用具の使い方は巻末にまとめられ、各題材のページには、このページへのリンクが示されているため、児童も教師も確認しやすい。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための効果的な工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 発想・構想を広げることが中心的な課題となっている題材においては、紙面で発想・構想を促すような投げかけがされている。 ○ 二次元コードから「アイデアシート」をコンテンツとして利用できるようになっている。特に「ひらめきショートチャレンジ」では、短時間で発想の方法を知り、気軽に実験的に楽しみながら描くことで、造形的な発想の方法（見方や考え方）を学ぶことができるようになっている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための効果的な工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 活動時の写真では、児童の表情を大きく表示し、児童がコミュニケーションを図りながら活動することが理解できるようになっている。 ○ 各題材が2ページ見開きで構成され、すべての題材が、左上から「用具・材料」「学習のめあて」「題材名」「活動を促すリード文」で構成されている。下段には「タブレットたんまつで」「かたづけ」「ふりかえり」「あわせて学ぼう」で構成されているので、学習の流れがわかりやすい。 ○ 目次ページにその学年の題材一覧が写真とともに掲載され、各題材の授業目標と内容の全体構成が視覚的に俯瞰でき、学習の見通しが立てやすいように構成されている。また、学年の各学年の最終ページには、1年間の振り返りをするページが設けられており、主体的に学習できるように工夫されている。
	資料	<ul style="list-style-type: none"> ○ 紙面に表示された二次元コードによって、作品製作の手順やポイント、用具の使い方が動画で理解できるように工夫されている。 ○ 2020東京オリンピック・パラリンピックの開会式の演出や、人気のあるアニメーション作品が取り上げられ、児童が図画工作の学習で培った力が、身近な社会につながっていることが示唆されている。
	表記表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3つの資質・能力に対応したキャラクターを用いて、学習のめあてや学習を深めるためのアドバイス、めあてに対応した振り返りを分かりやすく明示している。 ○ 各題材が2ページの見開きで構成されており、一目で学習の流れが分かりやすい。
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に基づき、児童が取り組みたくなる題材が、わかりやすく構成されている。 ○ 各学年の教科書の題名として「わくわくするね」「つながる思い」など、各学年の児童の思いが掲げられており、感性を育む意思が表現されている。 	

第25採択地区教科用図書採択協議会

【小学校】研究調査報告書

種目名（ 図画工作 ）

項目	図画工作（116・日文）
小学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 造形的な見方・考え方を働かせながら学習できるように、紙面全体を通して、児童が対象や事象を造形的な視点で捉え、自分のイメージをもちながら意味や価値をつくりだすことができるように、図版や吹き出しなどが配置されている。 ○ 生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を育成するために、題材ページには「ふりかえり」が設定され、題材で学んだことが生活や社会とどう関わるのかを考えられるように工夫されている。また、学習指導要領の学年の目標に合わせて、どのような力が身に付いたのかを確認することができるようになっている。
特色	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童が「自分の感覚や行為を通して」造形的な視点（知識）について理解できるよう、感覚や行為を大切にしたい題材が扱われている。 ○ 「図工のみかた」では、身の回りにある形や色などを造形的な見方・考え方で捉えることを促し、知識の習得につなげられるよう工夫されている。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 題材ページに「特に大切なめあてのヒント（表現のヒント）」を示すことで、児童が発想を広げ、思考力、判断力、表現力等を伸ばしていけるよう工夫されている ○ 題材ページに「鑑賞のヒント」を示すことで、友だちの作品などを鑑賞しながら活動を進められるよう促し、思考力、判断力、表現力等を伸ばしていけるよう工夫されている。 <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ オリエンテーションページでは、図画工作科ではどのようなことを学ぶのか、児童に分かりやすい言葉と活動例で示しており、図画工作科で育成を目指す学びに向かう力、人間性等を養えるよう配慮されている。 ○ 「学びに向かう力、人間性等」のうち、「感性や思いやり」など観点別評価になじまない部分については、「ふりかえり」の活動を通して感じたり考えたりしてほしいこととして例示し、児童一人一人の気付きを大切に、学びを人生や社会に生かそうとすることができるよう工夫されている。
	<p>資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ タブレット端末の活用が有効であると考えられる題材については、タブレットアイコンを示し、タブレット端末の機能を生かしながら、発想を広げたり鑑賞を深めたりできるよう配慮されている。 ○ 二次元コードから、用具の使い方や仕組みの作り方などを動画で確認することができ、題材の活動の中で、児童が自分で確認しながら学習を進めることができるよう工夫されている。
	<p>表記表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 色覚特性の有無にかかわらず、全ての児童が等しく学べるよう、コントラストや文字の背景色など、カラーユニバーサルデザインに配慮して編集されている。また、学年に合わせて文字の大きさが調整されている。 ○ 大小のメリハリをつけることで紙面に動きをもたせ、児童が興味・関心をもつことのできる構成になるよう工夫されている。
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○ 系統性や指導過程が明確に示された紙面構成である。 ○ 参考作品の例の数が多く、また、参考作品の水準も高い。 ○ 児童にとっても指導する教師にとっても、分かりやすい紙面である。

第25採択地区教科用図書採択協議会

【小学校】研究調査報告書

種目名 (家庭)

項目	新編 新しい家庭5・6 (2・東書)	
小学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日常生活に必要な基礎的・基本的な知識や技能を身に付けることをねらい、3ステップで学習の流れを示している。 ○ 日常生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決する力を養うために、段階的な活動(活動1～6)を取り入れながら進められるようになっている。 ○ 家族の一員として、生活をよりよくしようとする工夫が紹介されており、家庭や地域での実践に繋がられるようになっている。 	
特色	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小題材のめあてが明確であり、ステップごとの振り返りの視点を具体的に示しており、知識・技能が定着するよう工夫されている。 ○ 「学びをひろげるコンテンツ」は、一人一台端末で読み取ることができ、自己の活動と並行しながら学びを進めることができ、知識・技能を習得する一助となっている。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 課題発見→課題解決・実践→評価・改善という3ステップで示され、児童が生活をよりよくしたいという思いをもち、深い学びを引き出せるよう工夫されている。 ○ 座学が多くなりがちなところにも、吹き出しや活動の場面が設定され、話し合いや実践的・体験的な活動を促し、児童の思考力、判断力、表現力が育成されるよう配慮されている。 <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次や「成長の記録」において、他教科や今後の学習の見通し、関連性が示されており、児童の学習意欲を喚起し、成長を実感できるように工夫されている。 ○ 「ステップ3 生活に生かそう 新しい課題を見つけよう」では、学習内容を生活に結び付け、家族や地域との交流を図り、日常生活の問題を見出し、解決できるよう工夫されている。 	
	資料	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「いつも確かめよう」では、調理器具の使い方や、調理・製作実習の技能がまとまって掲載され、学習に活用しやすい工夫が見られる。 ○ 活用例や実習例が豊富に提示され、地域や学校の実態に応じて選択して指導できるように配慮されている。
	表記表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文は、ユニバーサルデザイン教科書体を使用して読みやすく、グラフなどは、カラーバリアフリーを実現し、児童にとって見やすいようにデザインが工夫されている。 ○ 多様性やジェンダーに配慮をしたイラスト・写真や、左利きの写真・動画が掲載され、様々な特性に対応している。
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小題材の初めに「学習の流れ」が示され、1単位時間の「めあて」や学習活動が見通せることで、主体的な学びを促し、知識・技能、思考力の育成に繋げている。 ○ 児童が災害に対応できるように、「日々の備え」として、学習内容を生かして、どのような準備をしておいたらよいのか、わかりやすく掲載されている。 	

第25採択地区教科用図書採択協議会

【小学校】研究調査報告書

種目名 (家庭)

項目	わたしたちの家庭科5・6 (9・開隆堂)	
小学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 衣食住などに関する実践的・体験的な活動に重点を置き、日常生活に必要な基礎的・基本的な知識・技能をスモールステップで身に付けられるようになっている。 ○ 実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養うために、学習したことを記入できる構成になっている。 ○ 家族や地域の人々との関わりに気が付けるような問いかけがあり、家族の一員として、生活をよりよくしようとする態度が育まれるようになっている。 	
特色	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 写真・イラスト・動画や大事な言葉をゴシック体の太字で表記することで、知識・技能の習得をサポートしている。実物大の写真(利き手の違いへの対応等)も効果的である。 ○ 学習のめあてが、3つのステップ「気づく・見つける」「わかる・できる」「生かす・深める」で示され、学習の終わりには振り返りを促す構成になっている。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「考えよう」「話し合おう」「やってみよう」では、生活の中で気が付いたことを表現できる機会になっており、思考を深めるように工夫されている。 ○ 「生活の課題と実せん」では、課題解決の5つのステップが明確に提示され、実践例が具体的で、児童の思考力を支え、発想を豊かにするように工夫されている。 <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 従来のデザインより一回り大きいA4サイズ判になり、写真やイラストが大きく、紙面がゆったり設計されている。 ○ 「伝統」コーナーでは、地域によっては触れ合うことのできない情報が多数紹介されており、自ら調べたくなるように工夫されている。 	
	資料	<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真やイラストが多岐にわたり掲載されているが、見やすく整理されている。また、QRコードの使用により、画像や動画を視聴して学習を進められる工夫がされている。 ○ 各ページの下に「豆知識」により、学習内容に対応した基本的内容を確認したり、知識の幅を広げたりできる工夫がされ、他教科や家庭生活で生かすことができる。
	表記表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルデザインフォントの使用により、温かみのある印象を受けるとともに、余白を十分に確保するなど、すべての児童に優しい配慮がされている。 ○ 本文が短く端的で、写真には吹き出しの補足説明があり、思考や作業の一助となる。また、改行で単語が分割されない工夫もされている。作業手順の番号が白抜きで見やすい。
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料の大小や配置の工夫、イラストや写真・動画などが多く掲載され、基礎的・基本的な知識・技能の習得に繋がるような構成になっている。 ○ 題材の初めに3つのステップ(①見つける・気づく②わかる・できる③生かす・深める)が示されており、児童が見通しをもって意欲的に学べる構成になっている。 	

第25採択地区教科用図書採択協議会

【小学校】研究調査報告書

種目名（保健）

項目	新しい保健 (2・東書)	
小学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各項を「気づく・見つける」「調べる・解決する」「深める・伝える」「まとめる・生かす」の4ステップで構成し、目標に示された資質・能力を育成できるようにしている。 ○ 他教科や保健の他学年との内容の関連がマークとともに随所に示されており、系統性のある指導ができるように配慮されている。 ○ 児童の学びを手助けする動画やシミュレーション、図鑑、思考ツールなど、教科書紙面と一体的に活用できるQRコンテンツが充実するように工夫されている。 ○ 1単位時間が基本的には4ページの構成となっており、見直しをもって学習できるように配慮されている。1単位時間の区切りが明示されているなどの工夫がある。 ○ 資料「はってん」では中学校で学習する内容が記されており、中学校との接続を図っている。 	
内容 特色	<p><知識及び技能が習得できるようにするための効果的な工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示された学習内容が本文にまとめられており、大切な部分が太字で記述され、基礎的・基本的な知識及び技能が習得できるように工夫されている。 ○ 単元の終わりにある「まとめる・いかす」活動で穴埋め式を利用して知識を習得できるようにし、デジタルコンテンツによる「学習をふりかえろう」では、自己チェックで習得した知識についてふりかえることができるように工夫されている。 ○ 5年「けがの手当」では、様々なけがの手当の動画、簡単な手当の実習、活用に向けた振り返りにより技能が身に付くように工夫されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための効果的な工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「気づく・見つける」の活動では、自分自身のことを振り返り、課題を見つけられるような工夫がある。「調べる・解決する」では、正しい知識を学ぶことによって課題を解決するために、適切なものを選べる学習の流れになっている。 ○ 「深める・伝える」では、学習したことを基に、他の人に伝えたり、聞いたりする活動によって、思考を深める構成になっている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための効果的な工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の導入に、身近な生活や自分の経験を振り返って考える活動が大きな写真や絵とともに掲示され、児童の学習意欲を喚起する資料となっている。 ○ 「まとめる・生かす」で自己の生活を見直す活動などを通して学習を実生活で生かすようにするとともに、次の学習に向けた意欲を喚起する言葉を入れている。 	
	資料	<ul style="list-style-type: none"> ○ グラフや写真、挿絵、漫画、キャラクターの吹き出し等の資料から、児童が理解を深めることができるよう、配置や大きさが工夫されている。 ○ 「感染症」や「性と自分らしさ」「SDGs」等、今日的な課題やオリンピック・パラリンピックアスリートの言葉が資料として取り上げられている。 ○ 児童が思考・判断したことを記す「深める・伝える」の記入欄や、各単元末の「まとめる・生かす」の記入欄など、評価の手掛かりとなる場面が設定されている。
	表記表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルデザイン等の観点に鑑み、ユニバーサルデザインフォントや配色にも配慮し、学習しやすい工夫がされている。 ○ イラストや写真、資料のレイアウト、見やすい配色、思考を助けるキャラクターの言葉等が多く取り入れられ、学習内容を理解しやすい工夫がなされている。 ○ 重要な語句は太字で示したり、語句の解説欄が設けられていたり、関連する学習のページを明示したりといった工夫がされている。
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3、4年は45ページ、5、6年は77ページで構成されている。大きさはA4版で児童の記入スペースを多くとり、ノートや学習の記録としての機能をもたせている。 ○ 課題解決的に学習を進める過程で、課題の明確化や基礎的・基本的な学習内容を理解できるように紙面の構成が工夫されている。 ○ 事例について原因を探求・分析したり、資料を基に思考したりする活動を通して、思考力・表現力・判断力等の育成が図られるようにしている。 ○ イラスト・写真・デジタルコンテンツが充実しており、健康・安全についての理解を深める工夫がされている。 ○ アスリートの言葉や、中学校への接続を考えた発展的な資料を掲載し、生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成できる工夫をしている。 	

第25採択地区教科用図書採択協議会

【小学校】研究調査報告書

種目名（保健）

項目	たのしい保健 (4・大日本)	
小学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1時間の学習の流れが「見つける」「考える・やってみる」「まとめる」「広げる・深める」となっており、ページ左側にガイドとして配置し、学習の進め方を分かりやすく示している。 ○ 単元の終わりに必ず「まとめ」があり、チェックシートを活用して身近な生活とのつながりを意識させ、学びを深めるようにしている。 ○ 脚注の「ミニちしき」や資料「はってん」では、関連する新しい知識や補足の説明があり、「たのしい保健ウェブへ」では、QRコードから、インターネットを使つての学習を取り入れており、理解を深める工夫がされている。 ○ 巻頭でアスリート等の「夢と健康」についての紹介を行ったり、運動の例を示した資料を掲載したりして、健康について考える工夫がされている。 ○ 中学校の内容を「はってん」として掲載しており、何年生で学習するかを示すことで中学校への接続が図られている。 	
特色	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示された学習内容が本文に大きく明示されており、基礎的・基本的な知識及び技能が習得できるように工夫されている。 ○ 「たのしい保健ウェブへ」では、学習單元ごとの穴埋め問題が用意してあり、知識が定着するような工夫がされている。 ○ 5年「けがの手当」では、様々なけがの手当の動画、簡単な手当の実習、活用に向けた振り返りにより技能が身に付くように工夫されている。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 課題解決の場面で「考えよう」「話し合おう」「調べよう」が設定されており、自身の生活を振り返る問いかけから、自分の考えを表現する構成になっている。 ○ 「活かそう」の欄で、学習したことを基に、自身の考えを記述したり、友達と話し合ったりする活動を通して、活用・探求をする構成になっている。 <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元冒頭に、簡単な運動や、キャラクター探し、チャートを掲載し、児童がゲームを行うことで自然と学習の課題に気づき、意欲的に取り組めるよう工夫している。 ○ 「おりこみカード」を活用することで、導入の「つかもう」に集中して取り組むことができる。活動を行うときのヒントが明記されており、学び方の一助となっている。 	
	資料	<ul style="list-style-type: none"> ○ グラフや写真、イラスト、学習の思考を助けるキャラクター等の資料により児童が理解を深めることができるよう工夫されている。 ○ 発展的な内容は、「はってん」のマークで記したり、「感染症」や「さまざまな性」、「SDGs」等、今日的な課題等を資料として取り上げたりしている。 ○ 児童が思考・判断したことを記す「活かそう」の記入欄や、各学年の終末に「ふり返ろう」「明日へつなげよう」の記入欄があり、評価の手掛かりとなる場面が設定されている。
	表記表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルデザイン等の観点に鑑み、ユニバーサルデザインフォントや配色にも配慮し、学習しやすい工夫がされている。 ○ イラストや写真は児童の学習意欲を喚起したり、興味・関心を引いたりするようなものを厳選している。 ○ 重要な語句は大きく見やすくなっており、語句の説明や関連する学習のページが明示されているなどの工夫がされている。
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3, 4年は45ページ、5, 6年は69ページで構成されている。大きさはA4版で書き込みができるようになっており、ノートや学習の記録としての機能をもたせている。 ○ 「学習ゲーム」で意欲を喚起し、基礎的・基本的な学習内容を理解できるよう紙面の構成が工夫されている。 ○ 学習したことを基に、自身の考えを記述したり、友達と話し合ったりする活動を通して、思考力・判断力・表現力等の育成を図っている。 ○ 身近な題材や自分の生活について振り返ったり、考えたりする活動を通して、主体的に学習できるように工夫されている。 ○ アスリートの言葉や、中学校への接続を考えた発展的な資料を掲載し、生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成できる工夫をしている。 	

【小学校】研究調査報告書

種目名（保健）

項目	新 小学校保健 (50・大修館)
小学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 冒頭に「生活の中のほけんをさがそう！」という活動を設定し、生活や身の回りの事柄から、健康や安全に関わることを多く発見することができ、保健の見方・考え方を働かせる手がかりや糸口になるように配慮している。 ○ 学習が始まる前に「なぜほけんを学ぶのかな？」のページを取り上げることにより、保健学習の意義を理解させて学習を始められるようにしているとともに、各単元の表紙には、アスリート等の言葉から健康の保持増進を目指す意欲を喚起させる工夫がある。 ○ 「保健の学び方」を設けて、3つのステップで学びが展開されており、身近な生活の中から課題をつかみ、必要感をもって目標に示された資質・能力を育成できるようにしている。 ○ 単元の終わりには、選択式の問題があり、知識・技能の習得ができるような工夫がされている。「ほけんクイズにトライ」では、QRコードから、その単元で学んだことを楽しく復習することができ、子供の意欲を喚起するような工夫がされている。 ○ アスリート等の言葉や、中学校への接続を考えた発展的な資料を掲載し、生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成できる工夫をしている。
内容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための効果的な工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示された学習内容が本文にまとめられており、大切な部分が太字で記述され、基礎的・基本的な知識及び技能が習得できるように工夫されている。 ○ 毎時間の最後にウェブクイズ「ほけんクイズにトライ！」を用意し、その時間に学んだ知識の確実な習得を促すようにしている。 ○ 5年「けがの手当」では、自分でできる簡単な手当の仕方の基本を知り、実習をすることで、技能が身に付くように工夫されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための効果的な工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各項目の導入段階に、身近な生活の中から健康課題に目を向けさせる発問「課題をつかもう」を設定し、保健の見方・考え方を働かせて、思考ができるようにしている。 ○ 課題解決の活動が主に「考えよう」「調べよう」「話し合おう」の流れで構成されており、何をすることが明確であり、児童の思考に即した学習が展開されている。
特色	<p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための効果的な工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各章の導入となるページでは、健康や安全について、著名人とキャラクターとの対話形式となっている。学習内容に興味・関心をもたせて主体的な学びを促す工夫がある。 ○ 資料「もっと学びを広げよう！深めよう！」では、発展的な内容が示されており、児童の興味・関心に応じて学習ができるよう工夫がされている。
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○ グラフや写真、イラスト、学習の思考を助けるキャラクター等の資料により、児童が理解を深めることができるよう工夫されている。 ○ 発展的な内容は、「はってん」のマークで記したり、「感染症」や「スマホ・ゲーム依存」「インターネット犯罪」等、今日的な課題等を資料として取り上げたりしている。 ○ 児童が思考・判断したことを記す「生かそう伝えよう」の記入欄や、各単元末の「学習をふり返ってみよう」の自己評価欄など、評価の手掛かりとなる場面が設定されている。
表記表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルデザイン等の観点に鑑み、ユニバーサルデザインフォントや配色にも配慮し、学習しやすい工夫がされている。 ○ イラストや写真、資料のレイアウト、見やすい配色、思考を助けるキャラクターの言葉等が多く取り入れられ、学習内容を理解しやすい工夫がなされている。 ○ 重要な語句は太字で示したり、色で囲んだりして、目に付きやすく、学習内容を理解しやすいように工夫がされている。
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3, 4年は49ページ、5, 6年は73ページで構成されている。大きさはA4版で児童の記入スペースを多くとり、ノートや学習の記録としての機能をもたせている。 ○ イラスト、写真、文字などの量や配置のバランスがよく、見やすくなっている。各単元の後半の「もっと学びを広げよう！深めよう！」では、詳しい内容が載っており、児童の興味・関心に応じて、発展的な学習ができるようになっている。 ○ 課題解決的に学習を進める過程で、課題の明確化や基礎的・基本的な学習内容を理解できるように紙面の構成が工夫されている。 ○ イラスト・写真・デジタルコンテンツが充実しており、健康・安全についての理解を深める工夫がされている。 ○ アスリートや著名人の言葉、中学校への接続を考えた発展的な資料を掲載し、生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成できる工夫をしている。

第25採択地区教科用図書採択協議会

【小学校】研究調査報告書

種目名（保健）

項目	新 わたしたちの保健 (207・文教社)	
小学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「調べてみよう」「考えてみよう」「やってみよう」「ふりかえってみよう」「話し合ってみよう」という呼びかけで、学習活動を順序付けて進める構成をしている。 ○ 場面設定された状況の中で、どう対処、対応すればいいのかを自分に置き換えて考えさせるなど、健康・安全について理解を深める工夫がされている。 ○ 自己をふりかえる「チェックシート」で、学習の内容を深めることができるように工夫されている。 ○ 巻末にある「〇〇宣言」は、基礎的・基本的内容を実践的に理解できるように工夫がされている。 ○ 中学校の内容を「発展」の中の資料として掲載することによって、系統的に指導できる工夫がされている。 	
特色	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示された学習内容を色付きの枠で示すとともに、大切な部分を太字で記述し、基礎的・基本的な知識及び技能が習得できるように工夫されている。 ○ 主体的・対話的で深い学びとなるよう、振り返りなどの「動機付け」「やってみよう・調べてみよう」「学習のまとめ」「もう一歩先の自分へ」と、順序性のある学習過程で構成されている。 ○ 5年「けがの手当」では、擦り傷の手当の動画、簡単な手当の実習、活用に向けた振り返りにより技能が身に付くように工夫されている。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「もう一歩先の自分へ」の欄や「〇〇宣言」で、学習したことを基に、記述したり発表したりする活動を通して、思考を深める構成になっている。 ○ 「話し合ってみよう」の欄で、自己の生活を振り返る視点が示され、考えを表現できる構成になっている。 <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各項の冒頭で、自分を振り返って課題を見つけられるようにするとともに、単元最後の「〇〇宣言」により、学習を活用して生活する意欲を高める工夫がある。 ○ 脚注の「つぶやきくん」には、豆知識や児童たちへのメッセージがある。学習に関連する内容を「エピソード」として掲載することでより課題に対して興味をもてるような工夫がみられる。 	
	資料	<ul style="list-style-type: none"> ○ グラフや写真、イラスト、キャラクターの吹き出し等の資料により、児童が理解を深めることができるよう工夫されている。 ○ 「感染症」や「防災」等多くの現実的な課題や、アスリートや専門家へのインタビューが取り上げられている。 ○ 児童が思考・判断したことを表現する欄である「もう一歩先の自分へ」、各単元末には学習したことや理解したことを踏まえて表現する欄である「わたしの〇〇宣言」が掲載されている。
	表記表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ 書体や文字の大きさ、配色は、ユニバーサルデザイン等の観点に鑑み、読みやすい工夫がなされ、児童が学習しやすいように配慮されている。 ○ イラストを中心としたレイアウト、学習の思考を助けるキャラクターや説明が多く取り入れられ、学習内容を理解しやすい工夫がなされている。 ○ 重要な語句は太字で示したり、色で囲んだりして、目に付きやすく、学習内容を理解しやすいように工夫がされている。
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3, 4年は37ページ、5, 6年は83ページ。大きさはA4版で、書き込みができるようになっており、ノートや学習の記録としての機能をもたせている。 ○ 各単元の初めに、動機付けページを配置することで、基礎的・基本的な学習内容を理解できるよう紙面の構成が工夫されている。 ○ 児童へのメッセージや学びを助けるための説明など、児童が関心をもって学びに向かっているような情報が掲載されている。 ○ これまでの学習を振り返り、健康安全についての実践的な理解を深める工夫がされている。 ○ アスリートの言葉や中学校への接続を考えた発展的な資料を掲載し、生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成できる工夫をしている。 	

第25採択地区教科用図書採択協議会

【小学校】研究調査報告書

種目名（保健）

項目	小学保健 (208・光文)
小学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 冒頭に「わたしと健康」を配置して、アスリート等の言葉から健康の保持増進を目指す意欲を喚起させるとともに「どうして保健を学習するのかな？」により、保健学習の意義を理解させて学習を始められるようにしている。 ○ 「学習の進め方を知ろう」を設けて、一定した学習の流れをつかんで学べるようにしている。 ○ 「解説」では、専門的な用語の解説を行ったり、「この人に聞く」では、学習内容に関わりのある仕事をする人の話を掲載したりすることで、健康・安全について理解を深める工夫がされている。 ○ 単元最後の「学習のまとめ」では、学習内容の確認とともに、学んだことを生活に生かすことにより、実践的に理解することができるように工夫されている。 ○ 「さらに広げよう・深めよう」では、発展的な内容を中学校の学習として掲載することで、中学校との接続を図っている。
特色	<p><知識及び技能が習得できるようにするための効果的な工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示された学習内容が本文にまとめられており、大切な部分が太字で記述され、基礎的・基本的な知識及び技能が習得できるように工夫されている。 ○ 主体的・対話的で深い学びとなるよう「振り返り」「学習課題」「学習活動」「まとめ」「活用」の5段階の学習過程で構成されている。 ○ 5年「けがの手当」では、様々なけがの手当の動画、簡単な手当の実習、活用に向けた振り返りにより技能が身に付くように工夫されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための効果的な工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「話し合おう」の欄は、話し合う視点が示してある。自分の生活を振り返ったり、事例を基に思考したりすることによって、考えを表現しやすい構成になっている。 ○ 「学んだことを生かそう」の欄では、学んだことを他の人に伝えたり、聞いたりする活動によって、思考を深める構成になっている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための効果的な工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各章の扉に、児童が学習内容を身近に感じられるストーリーの掲載があり、児童の学習意欲や学びに向かう力を高める工夫をしている。 ○ 児童がより自分事として学習内容が捉えられるように、各単元冒頭の「見つけよう」では、自分の生活を振り返ったあとに「学習課題」を確認する構成になっている。
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○ 動画やウェブサイト等の、学びを広げ深めるための資料が掲載されていて、児童が興味をもって学びに向かえるように工夫されている。 ○ 「性について」や「感染症の予防」「ICT機器の活用にあたって」等、多くの現実的な課題や、アスリートや作家へのインタビューが取り上げられている。 ○ 児童が思考・判断したことや、知識を活用したことを記入する箇所、各単元末の自己評価欄など、評価の手掛かりとなる場面が設定されている。
表記表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ 書体や配色に関してユニバーサルデザイン等の観点から、読みやすい工夫がなされ、児童が学習しやすいようになっている。 ○ イラストを中心としたレイアウト、図やグラフ等の見やすい配色、思考を助けるキャラクターと説明が多く取り入れられ、内容を理解しやすい工夫がなされている。 ○ 重要な語句は太字や色文字で示したり、語句の解説欄が設けられていたり、関連する学習のページが明示されていたりといった工夫がされている。
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3, 4年は41ページ、5, 6年は65ページで構成されている。大きさはA4版で、書き込みが可能になっており、ノートや学習の記録としての機能をもたせている。 ○ 各単元の初めに、学習内容を身近に感じられるストーリーを配置することで、基礎的・基本的な学習内容を理解できるよう紙面の構成が工夫されている。 ○ 動画資料やウェブサイトの紹介等、学びを広げ、深めるための資料によって、児童が興味をもって学びに向かえるように工夫されている。 ○ 学習内容を理解し、実生活と関連付けることで、健康・安全について理解を深める工夫がされている。 ○ アスリートの言葉や運動についての資料、中学校への接続を意識した学習資料が掲載され、児童が生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成することができる内容になっている。

第25採択地区教科用図書採択協議会

【小学校】研究調査報告書

種目名（保健）

項目	新 みんなの保健 (224・学研)	
小学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「教科書の使い方と保健の学び方」で、1時間の学習の進め方を示すとともに、各章の初めには、扉を設けて学習内容の全体像を示しており、見通しをもって学習ができるようにしている。 ○ 導入において、生活や経験を具体的に振り返る場面を設定したり、「実験」や「体ほぐしの運動」「実習」を設定したりしていることで、自分の生活と関わらせて、実践的に理解できる工夫がされている。 ○ 「かがくの目」では、科学的な資料を用いて、学習内容が詳しく説明され、理解が深まるように工夫されている。 ○ 巻頭には、運動や生活についての写真を掲載することで、健康について考えさせ、「つながぐ」の項目を設けることで、運動領域や他教科、特別の教科 道徳との関連を図っている。 ○ 学習を広げたり深めたりすることに役立つ「ほけんのはこ」には、中学校での学習も示されており、系統的に指導できる工夫がされている。 	
特色	<p><知識及び技能が習得できるようにするための効果的な工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示された内容が本文にまとめられており、大切な部分は太字で記述する等、基礎的・基本的な知識及び技能が習得できるように工夫されている。 ○ 主体的・対話的で深い学びとなるよう、学習の進め方や課題の確認後、「自ら取り組む活動」「対話的な活動」「活用」の、3段階の学習過程で1時間が構成されている。 ○ 5年「けがの手当」では、擦り傷や切り傷の手当の動画、簡単な手当の実習、活用に向けた振り返りにより技能が身に付くように工夫されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための効果的な工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「自分で考える」「友達とみんなで考える」「身に付けたことを生かす」学習の流れが設定され、協働的な学びが行えるように工夫されている。 ○ 単元の最後に「学習したことを伝える」活動があり、学習した内容を表現する場面が設定されている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための効果的な工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「ほけんのはこ」のコーナーを設け、発展内容や科学的な資料により、興味・関心を高める工夫をしている。 ○ 写真や例が豊富に掲載されていたり、体ほぐしの運動の動画やグラフなどの資料をQRコードで読み込めたりするなど、主体的に学習ができるように工夫されている。 	
	資料	<ul style="list-style-type: none"> ○ グラフや写真、イラスト、キャラクターの吹き出し等の資料により、児童が理解を深めることができるよう工夫され、毎時間の振り返りシートのQRコードも掲載されている。 ○ 「発達や発育についての個人差・多様性」や「感染症の予防」「ICT機器の活用と健康・安全」等、多くの現実的な課題が取り上げられている。 ○ 児童が思考・判断したことを表現する学習のまとめ欄、各単元末の「学習をふり返る」の自己評価欄や「明日につなげる」の活用記入欄など、評価を行う手掛かりとなる場面が設定されている。
	表記表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ 書体はユニバーサルデザインフォント体を使用し、カラーユニバーサル視点から読みやすくする工夫がなされ、児童が学習しやすいよう配慮されている。 ○ イラストや写真中心のレイアウト、色づかいや濃淡での見やすさ、思考を助けるキャラクターによる説明が多く取り入れられ、内容を理解しやすい工夫がある。 ○ 重要な語句は太字で示したり、語句の解説欄が設けられていたり、関連する学習のページが明示されていたりするなど工夫がされている。
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3、4年は49ページ、5、6年は89ページで構成されている。大きさはA4版で、書き込みが可能になっており、ノートや学習の記録としての機能をもたせている。 ○ 保健の学習の進め方が明記され、見通しをもって学習に向かうことができるように工夫されている。 ○ 各項目初めの「これまでに学習したこと」で課題を明示するとともに、各章最後の「ふり返る・深める・つなげる」により、内容の確認や活用ができるようにしている。 ○ 各単元の初めに、身近な写真を配置することにより、自らの生活を振り返り、基礎的・基本的な学習内容を、実践的に理解できるように工夫されている。 ○ 運動領域とのつながり、前後の学年や他教科の学習内容とのつながりを大切に資料、中学校への接続を意識した学習資料を掲載することにより、児童が生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成することができる内容になっている。 	

第25採択地区教科用図書採択協議会

【小学校】研究調査報告書

種目名（ 英語 ）

項目	NEW HORIZON Elementary English Course （ 2・東書 ）
小学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全単元が最初のパートで、音声や映像から単元の学習内容をインプットし、2つ目のパートで、ペアやグループでのやり取りを通して定着を図り、3つ目のパートで、コミュニケーションを行う目的や場面、状況を設定してアウトプットする構成になっている。 ○ Sounds and Letters で、文字の名前、音、複数の文字の書き取り、アクセント、2つの文字で表す音など、文字の音に段階的に慣れ親しませることができるようになっている。 ○ SDGs、多様性、郷土教育、伝統文化など、他教科と関連した題材が取り上げられている。
特色	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ My Picture Dictionary には、教科書の活動にリンクした単語に加え、約300語を「プラス単語」として二次元コードからアクセスでき、紙面やプラス単語に言いたい単語がない場合には、児童が自分で調べた単語を書き留めておける欄が設けられている。 ○ Small Talk では、既習の表現も取り入れることで定着を図る工夫がされている。 ○ 6年生では、自分のことを伝える文を書く Let's Read and Write があり、書くことに慣れ親しむことができるようになっている。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の冒頭 Starting Out の中に、Watch and Think があり、そこで自分が伝えたいことを考え、次の Your Turn、Enjoy Communication を行えるよう工夫されている。 ○ 年3回、学びを振り返り、内容を整理して発表する Check Your Steps がある。 <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ My Picture Dictionary に CAN-DO リストがあり、達成すべき目標が明示されている。 ○ 各単元で、単元の目標と関連したふり返りが教科書に書き込めるようになっている。 ○ Over the Horizon では、日本で働く外国出身者や、世界で働く日本人の日常などを取り上げ、キャリア教育につなげている。 ○ Over the Horizon で自分の考えを記入する欄を設けている。
	<p>資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ My Picture Dictionary には、日本や世界の情報検索ができる日本地図・世界地図、CAN-DO の樹、ローマ字表がある。また、「英語を使って会話を広げよう！」があり、会話を続けるための表現が確認できるようになっている。 ○ 学習者用のデジタル教科書では、字幕機能、Word Quiz がある。 ○ 指導者用デジタル教科書では、360度動画、Small Talk 例、4線上に書き込めるツール、タイマー機能がついている。
	<p>表記表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1ページあたり1時間を基本とし、全単元を4パート構成で統一している。 ○ 多く使われる小文字に配慮し、4線の第2線と第3線の間をやや広げて書きやすくしている。 ○ ユニバーサルデザイン書体を使用している。
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分のこと、日本や世界のことなどが話題となっており、全単元が音声や映像からのインプット、ペアや1人でアウトプットする活動が、自然な流れで構成されており、どの児童でも楽しく英語でコミュニケーションがとれるように工夫されている。 ○ 全単元が Our Goal で最初に目標を提示しており、1つ目のパートでインプット、2つ目のパートで定着を図る練習、3つ目のパートでアウトプットのスモールステップの構成で、分かりやすく、アレンジも可能なため、学習を進めやすい。 ○ 別冊 My Picture Dictionary は、豊富な単語量でいつでも使え、会話を広げる表現が示されており、中学校との接続に有効である。

第25採択地区教科用図書採択協議会

【小学校】研究調査報告書

種目名 (英語)

項目	Junior Sunshine (9・開隆堂)
小学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各単元の第1時で、映像などから学習内容の導入をし、第2時から第5時では、Let's Watch and Think、Let's Play、Let's Listen で十分なインプットをし、Let's Try、Activity で、少しずつアウトプットをする構成になっている。 ○ 各単元の第3時から、Let's Listen and Read、Let's Write で音声を読み、書く活動につながられるように工夫されている。 ○ SDGs、キャリア、伝統文化、郷土愛、環境など他教科と関連した題材を取り入れている。
特色	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各単元の主な表現を、Song Box や Chant Box で繰り返し扱い、表現の理解・定着につなげている。 ○ 第2時から第5時の Let's Play で、表現の定着を図れるような活動を毎回入れている。 ○ 各単元の最初の右ページ上部に、単元のゴールと見開きごとのめあてが提示されている。 ○ 年3回、Let's Check があり、学習した英語が身についたかを確かめることができる。 ○ 字幕付き動画や音声などの学習コンテンツが、QR コードで読み取ることができ、個別学習ができるようになっている。 ○ Sounds and Letters が全単元にあり、各単元末には Sounds and Letters のまとめの活動もあり、文字の音に親しむことができるようになっている。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Let's Play、Let's Try でペアやグループで行う活動を多く取り入れている。 ○ 各単元の第6時で、第5時までの表現の内容を整理してペアに伝える活動を行い、十分な練習をしてから、Activity 3 で単元のゴールの活動を行っている。 <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書の巻末に CAN-DO チェックがあり、1年間の学習の見通しを持つことができ、単元ごとに振り返りを書くことができるようになっている。 ○ 各単元の最後に、Around the World、Story Time があり、単元で学習した表現を復習したり、海外の生活や文化を知ったりすることができるようになっている。 <p>資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 指導者用デジタル教科書の Let's Listen and Read の動画は、音声に合わせて文字の色が変わり、文字と音のつながりを確認することができる。 ○ 5年生、6年生それぞれに Word Book がついている。 ○ 「授業で使える20の表現」があり、Classroom English が確認できる。 <p>表記表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各単元、配当時数は8時間に統一されている。 ○ 教科書のページ数は、数字と英語の両方の表記がされている。 ○ 基本的に1時間の学習を1ページにまとめている。 ○ 4線の第2線と第3線の間が広がっている。
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分のこと、日本や外国のこと、将来の夢など、身近な話題で児童の意欲を高め、メインの活動に至るまでに何度も練習を重ねることで、どの児童も一定水準の力を身につけることができる。 ○ 単元の最初に Goal が示され、学習の流れが確立されており、初めて外国語を教える教師であっても安心して指導することができる。 ○ できるようになったことを記録できる CAN-DO チェックや、年3回の Let's Check (確認テスト)、5年、6年それぞれに Word Book という単語帳がついている。

【小学校】研究調査報告書

種目名（ 英語 ）

項目	CROWN Jr. (15・三省堂)
小学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 外国語について日本語との違いに気付き、知識を理解するために、語句や表現はスモールステップでの学習が設定され、学びやすい順序で言語材料を導入している。 ○ 言語活動を通して語句や表現に慣れ親しみ、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身につける工夫がされている。 ○ Lesson のゴールを具体的に示し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて話す内容を考え、対話的・協働的な活動を通して、内容をよりよいものに改善できる活動が設定されているので、コミュニケーションを図る基礎的な技能と、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養うことができる。
特色	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 語句や表現に出会う (HOP, Panorama) Lesson の導入部分。メインキャラクターが登場する楽しいイラストとともに、語句や表現に出会う。(Sound Chant, Word Chant, Phrase Chant, Small Talk) ○ 語句や表現に慣れ親しむ Part では「聞く・話す」を中心とした言語活動でそれらを習得する。 ○ 学んだ表現で伝え合う (Step-up) Part での学習を通して身につけた語句や表現を使って、まとめの言語活動を行う。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 目的や場面、状況を考えて表現する HOP では、対話的・協働的な活動を通して、内容をよりよいものに改善していく。 ○ モデル動画やスモールステップの設定により、誰でもゴールに向かって活動できるように構成されている。さらに活動を広げたい場合として、JUMP+が用意されている。 <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 心を動かす物語を通して、知っている語句や絵から内容を憶測する力を養う Story Time がある。 ○ 世界に目を向ける題材を通して、児童の世界を広げる Hello,World!がある。 ○ 他教科での学びを生かす題材・活動や今日的な課題への関心を高める題材が設定されている。
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○ マイノート (児童用ワークシート冊子) ○ デジタル教材 ○ QR コード ○ My Dictionary
表記表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ Unit ごとに色分けされ、大きな言語活動のまとまりがわかりやすい。 ○ 1 時間に必要な内容を、ページ単位で記載している。(A4 判教科書、AB 版 My Dictionary) ○ 見やすいレイアウト、視覚的刺激的の少ない色使い、囲みの工夫、領域アイコン、理解を助ける資料、見本の位置を工夫、ナビゲーションキャラクター、専用手書きフォントなどがある。
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○ インプットからアウトプットへ自然に流れる構成になっているので、学習を進めやすい展開になっている。 ○ 英語の教科書にしては、日本語の割合が多いので、はじめて英語を学ぶ児童であっても取り組みやすくなっている。 ○ 2 学年分の単語等が記載されている別冊 My Dictionary が活用しやすい。

【小学校】研究調査報告書

種目名（ 英語 ）

項目	ONE WORLD Smiles (17・教出)
小学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「聞くこと」「読むこと」「話すこと（やり取り）（発表）」「書くこと」の5つの領域別に設定された目標を達成できるように、内容が工夫されている。 ○ 実際の使用に即した場面設定、興味を喚起する話題や他者と関わる活動を豊富に配置し、「コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成」できるように、内容が工夫されている。
特色	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ インプットからアウトプットにつながる言語活動を設定している。 ○ Let's Watch で、映像を見て、視覚から Lesson に入ることができる。 ○ Let's Say It Together で、学習する英文を聞かせている。 ○ スモールステップで徐々に難易度を上げている。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Let's Say It Together や Let's Listen で、インプットし、慣れさせてから Activity で活用させている。さらに Final Activity が設定され、思考力等を育成する構成になっている。 ○ 対話的で深い学びを促すことをねらいとした Think という活動場面が設けられている。 <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学びのロードマップ 各レッスンの目標とふり返りをわかりやすく示し、学習への見通しを持たせることで主体的な学びを促進させるねらいがある。 ○ よりよい関わり合いを意識した言語活動場面が設定されている。 話し手としてだけでなく、聞き手として気持ちのこもったリアクションを大切にしている。（キャリア教育連携） ○ 多様性の尊重と、生きて働くことばを学べるコーナーが新設されている。
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○ デジタル教科書（児童用・教師用） ○ ワークシート編 ○ 資料・音声データ ○ 巻末単語カード（切り取りタイプ）
表記表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルデザインへの対応（フォント、色、濃淡、罫線、記号・番号、文字の補助） ○ シンプルな紙面構成 ○ AB 版
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各レッスンの目標と振り返りが示されていて、教科書のページが前後することなく学習が進んでいく。 ○ 日本語と英語の量のバランスがよく、児童にとって学びやすくなっている。 ○ 「アレンジしやすい」単元構成になっており、豊かな言語活動を計画的に行っていくことで、基礎的な英語力を身につけさせることをねらいとしている。学習を進めやすい構成となっている。 ○ 豊富なデジタルコンテンツがあり、授業外でも活用できる。英単語は別冊ではなく、Lesson ごとに主要単語を学べるようになっていく。（6年生の巻末資料として単語ページあり「My Word Bank」）

第25採択地区教科用図書採択協議会

【小学校】研究調査報告書

種目名（ 英語 ）

項目	Here We Go! (38・光村)
小学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書の初めに、到達目標 (CAN-DO) が掲載されており、学習指導要領に示された「目標」ア、イ、ウとわかりやすく対応されている。 ○ 導入→インプット活動→アウトプット活動の一連の流れで活動が展開されている。 ○ 45分の授業の中で、簡単な文を聞き、自分の気持ちを表現できるような活動になっている。
特色	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1つのUnitが、Hop!→Step1→Step2→Jump!の3段階に分けられており、スモールステップで、段階的な学習が可能である。 ○ まとめの活動を3箇所設定し、Unitで学んだ表現を「世界の友達」で需要し、You can do itで発信できるように工夫している。 ○ 各UnitにSmall Talkが設定され、既習表現の活用と定着を促している。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各Unitに、Let's tryとPlus Oneが設けられており、既習表現を通して自分の気持ちが表現できるような工夫がされている。 ○ Unitの最初にStoryがあり、学習する英語表現を聞くことができる。 ○ 学習した英語表現音声 You can do itで活用して、自分の考えや気持ちを表現できるようになっている。 <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各UnitのLet's watch and thinkで、Unitの題材に関連して国際理解を深めることができるようになっている。 ○ Let's Chantでは、各Stepで学習する表現を効果的に取り込んでいる。
	<p>資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 5年、6年の教科書共に、Picture Dictionaryがあり、単語を振り返ったり調べたりすることができる。 ○ 巻末に、Alphabet Timeが掲載されており、フォニックスを通して、発音と文字の関係性を学ぶ音声学習がある。 ○ 見開きごとにQRコードが記載されており、画像や音声教材を活用できる。
	<p>表記表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元ごとにHop! Step1, Step2, Jump!の4部構成になっている。各単元の初めにGoalの動画が示されている。 ○ 単元の最後には、書く活動、歌やゲーム、他教科とのつながりがある活動が紹介されている。 ○ 各学期の終わりに、「世界の友達」が設定されており、国際理解の視点が盛り込まれている。
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○ 聞く・口に出す・徐々にできる・慣れ親しむ・読む・書くという言語習得の流れに沿っている。45分の授業でワンセンテンスの習得が図れる構成となっており、負担や苦手意識を感じることなく活動できる。 ○ 1つのセンテンスを45分の授業を通して身に付けられるような構成でまとめられているだけでなく、豊富な活動が設定されているので、指導者側も無理なくねらいに迫る学習展開にすることができる。 ○ 随所にSmall Talkがあり、本時のセンテンスを活用した日常会話を聞くことができるようになっている。具体的な場面で、どのような英語を話すのかが児童にとってわかりやすい。

第25採択地区教科用図書採択協議会

【小学校】研究調査報告書

種目名（ 英語 ）

項目	Blue Sky elementary （ 61・啓林館 ）	
小学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 導入→インプット→アウトプット→振り返りの一連の流れで活動が展開されている。 ○ タブレットによる QR コードや ICT を活用することで、Activity による共同作業の充実が図られる。 ○ 各 Unit の最後には[Let's Read and Write]での、文字と音との関係の学習が位置付けられており、音を通して読んだり書いたりできるような工夫がある。 	
特色	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書紙面に語句や表現が明示されており、Jingle や Chant を通して、語句や表現に慣れ親しみながら、知識・技能の定着が図れるようになっている。 ○ 巻末の絵カードや、ゲームが充実しており、楽しみながら英語に触れる機会が多く設けられている。 ○ 音声中心の学びから始め、段階的に文字の学習に取り組めるようになっている。 ○ 各単元の各ステップでは、45分の授業の中で、Words and Phrases や Listen and Do の活動でインプットし、Chant や Activity の活動でアウトプットをする授業展開が確立している。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童が場面や状況に応じて、自分が言いたいことを Word List などの中から選んで話す活動ができるようになっている。 ○ 各学期末の REVIEW では、既習の表現を、日常の場面を考えながら活用できるようになっている。 ○ Activity に書く活動も取り入れられており、書き写しながら自分の気持ちを文で表現できるようになっている。 ○ Activity では、QR コードの Hints が掲載されており、様々な英語表現が、収録されている。さらに、数種類の中から単語を選んで、自分の考えを表現できるようになっており、表現の幅が広がる。 <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 異文化情報が豊富に取り扱われており、外国の文化や生活様式の理解が深められるような工夫がされており、興味・関心が高められるようになっている。 ○ Unit の最後 Look Back で学習事項を振り返るようになっており、学んだことが想起できるようになっている。 	
	資料	<ul style="list-style-type: none"> ○ QR コードが充実しており、いつでもネイティブの発音が聞ける。 ○ 教科書の巻末に Word List が掲載されており、Unit ごとの単語がまとめられている。いつでも分からない単語を調べることができ、単語が種類ごとに分かれており、探しやすい。
	表記表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各 Step の「めあて」を達成していくことで、少しずつ Unit の目標が達成できるようになっている。 ○ 家庭学習・自主学習への対応ができるよう豊富な QR コンテンツがある。 ○ 表紙裏に目次があり、教科書の構成・使い方の説明がある。
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1時間の授業の流れが確立されており、基本的に毎回同じ授業の流れで指導をすることで、児童は迷わず安心して取り組むことができる。 ○ 児童が英語の意味を推測、理解しながら聞く活動ができ、演習を経て「聞いて理解する力」をきちんと身に付けられる構成になっている。 ○ デジタルコンテンツや、Word List を活用しながら、自分の気持ちや考えを表現しやすい資料の工夫がなされている。 	

第25採択地区教科用図書採択協議会

【小学校】研究調査報告書

種目名（道徳）

項目	新編 あたらしい道徳 (2・東書)	
小学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭の「どんな学びをするのかな？」では、対話的な学びを実現するための学び方が例示され、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた配慮がなされている。 ○ 教材末の「考えよう」で中心発問に◎、自己を見つめる発問に○が付され、道徳的価値に迫り、自己との関りで価値を見つめられるよう工夫されている。 ○ 教材に付属するコラム「つながる・広がる」では、他教科等の学習とつなげたり、普段の生活に広げたりできるよう工夫されている。 	
特色	<p>＜現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「いじめ」「いのち」「じぶん（自己肯定感）」「情報モラル」「安心・安全（防災教育）」の5つのユニットを設け、複数教材で学習できるよう工夫されている。 ○ 個人の価値を尊重したり個人のよさを伸ばしたりして、自己肯定感を育むエンカウンターが、各学年に2箇所ずつ掲載されている。 <p>＜発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1年生の最初の6教材を入門期に位置付け、全ての児童が道徳科の授業を楽しめるよう、具体的な学習活動を取り入れたり、絵や写真を活用したりしている。 ○ 1年生最初には、自分のことを友達に話し、認め合う学習、6年生後半には、自己の生き方を見つめる教材が配置され、幼小連携・学校間の接続に配慮されている。 <p>＜「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末の「考えるためのツール」には、自分の考えを可視化するツールが例示され、友達の考えと比べ、多様な感じ方・考え方に気付けるよう工夫されている。 ○ 2年生以上巻頭の「ちょっと話し合ってみよう」には、ミニ教材と対話で活用できる文言例があり、議論する道徳のトレーニングができるよう工夫されている。 	
	資料	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年生入門期を除く、各教材のQRコードからアクセスすると、朗読音声、スライドショー（紙芝居）、デジタルノート、ワークシートを活用することができる。 ○ 巻末の「学習の記録」では、心に残った話や感じたこと、考えたこと、これからの学習に生かしたいことなどを書くページがあり、振り返りを行うことができる。 ○ 美しい挿絵やダイナミックな写真が随所に掲載されている。
	表記表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ 未履修の可能性のある当該学年の配当漢字は使用せず、原則として当該学年の一つ下の学年までの配当漢字が使用され、読み取りやすさに配慮している。 ○ 低学年では、教材本文を文節ごとに分かち書きされると共に、文節で改行され、全ての児童が読みやすくなるように配慮されている。
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての学年において、問題解決的な学習と、動作化や役割演技などの体験的学習を取り入れた教材が掲載され、考え議論する道徳を促すよう工夫されている。 ○ 教科書の裏表紙に、保護者に向けたメッセージや資料にアクセスできる二次元コードの説明などが記され、家庭との連携を図ることができるよう工夫されている。 	

第25採択地区教科用図書採択協議会

【小学校】研究調査報告書

種目名（道徳）

項目	小学道徳 はばたこう明日へ (17・教出)	
小学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭に「道徳ではこんな学び方をするよ」があり、「学び方」の違いや「話し合いの観点」が示され、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。 ○ 教材末の「まなびチェック」での振り返り、巻末の学期ごとや一年間の成長を記入する「学習をふりかえろう」は、教師の学習の見取りにも活用できる。 ○ 教材の冒頭にキャラクターによる「導入のつぶやき」を設け、目的をつかんでから学習に入れるように工夫している。 	
特色	<p>＜現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ いじめ問題については、一人一人がしっかりと向き合い考えることができるよう、全ての学年で重点テーマとし、身近な場面を取り上げたユニット構成となっている。 ○ 情報を扱う上で配慮すべきことやルール、インターネット上での注意点などを、発達段階に合わせて学べるように、全ての学年でユニット構成となっている。 <p>＜発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教材の最後に自己評価を記入できる「まなびチェック」や、巻末に心に残った教材を記入できる欄があり、自身の成長を実感できる工夫がある。 ○ 「モラルスキルトレーニング」が全学年に取り入れられ、体験を通して人としての行動について考えを深められるよう工夫されている。 <p>＜「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教材末には「学習のてびき」があり、「考えよう」には、教材内容や道徳的価値を理解する発問、「深めよう」には思考の深化を促す発問が設定されている。 ○ 教材に応じて、「問題を解決しよう」「やってみよう」などが設けられ、問題解決型や体験型の学習ができるよう工夫されている。 	
	資料	<ul style="list-style-type: none"> ○ 二次元コードで「まなびリンク」にアクセスすることにより、児童の興味・関心を高め、学習を広げ深めることができ、個別、協働、家庭での学習にも活用できる。 ○ 学習内容を補足する資料や、教材に関連する資料を提示する「コラム」、教材とともに活用することで効果を発揮する「巻末資料」が設けられている。 ○ 巻末には、切り取って提出できる学習の振り返りシートが付されている。
	表記表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ 行間を広くし、ふりがなには可読性の高いゴシック体を採用している。また、余白を大きくしたことで圧迫感なく読みやすい紙面となる工夫がされている。 ○ はっきりと文字を認識できる誤読されにくいユニバーサルデザインフォントにしており、誰もが見やすいカラーユニバーサルデザインにも配慮されている。
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材末の「学習のてびき」は、児童が考え議論しながら生き方を深める発問で構成され、「やってみよう」「つなげよう」は、体験的・発展的学習に活用できる。 ○ 人権について考える教材やコラムを設け、人権尊重の態度を養えるよう配慮し、性的指向による偏見・差別を生まないよう教材やイラストにも配慮している。 	

第25採択地区教科用図書採択協議会

【小学校】研究調査報告書

種目名（道徳）

項目	道徳 きみが いちばん ひかるとき (38・光村)	
小学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全学年を通して、教材末に学習のてびき「考えよう・話し合おう」が設けられており、多面的・多角的に考えられる発問が教材に応じて記されている。 ○ 全学年の教材冒頭に、キャラクターによる児童への呼びかけの言葉があり、主体的な姿勢で学習に取り組めるよう配慮されている。 ○ 2年生以上の第1教材「道徳が始まるよ」では、道徳の内容項目をわかりやすく示し、「道徳みちあんない」では1年間の教材を見通せるように工夫されている。 	
特色	<p>＜現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「いじめ問題」「情報モラル」「環境」「共生」の4つのテーマについて、複数教材＋コラムで構成したユニットを配置している。 ○ 情報モラルを扱ったコラムにおいては、「家庭との連携マーク」が付され、家庭と一体となった指導が必要であることがわかりやすく明示されている。 <p>＜発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 3年生以上には、9月の初めとなる位置に「考える準備たいそう」を設け、互いの考えを理解し合おうとする対話の練習を促している。 ○ 1年生では第1～5教材までを入門期と位置づけ、入学間もない児童の生活に即し、道徳を学ぶ楽しさを実感できるよう絵を見て考える教材が配置されている。 <p>＜「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 3年生以上の「考えるヒント」には、思考ツールや話し合いを活発にする言葉の提案、役割演技の手順等が示され、学級の実態に応じて活用できるよう工夫されている。 ○ 「考えよう・話し合おう」では、「教材」「自分」「友達」の3つの対話を意識して、教材の出来事を自分のこととして捉えられるよう工夫している。 	
	資料	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3～6年生の巻末には、付録「学びの道具箱」として教材に関連する資料が掲載され、教材と結びつけることで、さらに学習意欲が高まるよう工夫されている。 ○ 巻末の「学びの記録」では、4年生まではシールを貼り、5年生からは一言感想を書き込むことで、1年間の成長を振り返ることができるよう工夫されている。 ○ 教材冒頭のQRコードから、様々なデジタルコンテンツにアクセスできる。
	表記表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ 低学年では分かち書きとなっており、1年生は全て平仮名、2～6年生は当該配当漢字に全て振り仮名が付され、読みの負担を軽減するように工夫されている。 ○ 本文には読みやすく書きやすいフォントが使用されており、文字が小さい吹き出しにはUDフォントを用いて読みやすいように工夫されている。
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○ 対話的な学びを促す話し合いの時間を十分に確保するため、道徳的な問題が起こっている場面そのものを、挿絵と短い文章で端的に示した教材となっている。 ○ 1年生は6教材、2年生以上は5教材の付録教材が加えられ、全40教材を提供している。また、日本それぞれの地域にゆかりのある人物や題材を取り上げている。 	

第25採択地区教科用図書採択協議会

【小学校】研究調査報告書

種目名（道徳）

項目	小学道徳 生きる力 (116・日文)	
小学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭に「道徳のとびら」「道徳の学び方」というオリエンテーションページが配置され、道徳科の意義や学び方など、発達の段階に応じて分かりやすく示している。 ○ 別冊の「道徳ノート」には自由記述欄が設けられ、その「使い方」として友達の意見が記入でき、多面的・多角的な学習を促すよう工夫されている。 ○ 「見つめよう・生かそう」では、授業で学んだことをこれからの自分に生かしていくための発問例があり、実践意欲と態度を育成できるよう工夫されている。 	
特色	<p>＜現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ いじめを間接的に扱った教材、直接的に扱った教材、いじめ防止コラムを組み合わせたいじめ防止ユニット「人との関わり」を年間3回設定している。 ○ 「見つけた！ここにも道徳」「SDGsで考えよう」を設け、道徳の学びと日常生活やSDGsの17の目標とつなげ、自分事として深められるよう工夫している。 <p>＜発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「いじめ・情報モラル・SDGs・多文化共生・自己肯定感」の5つのテーマのコラム「心のベンチ」を各学年に1点ずつ配置し系統的に配列している。 ○ 1年生ではスタートカリキュラムを意識した内容、5・6年生では国家・社会の一員としての自覚を高める、中学校との接続を意識した内容となっている。 <p>＜「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「ぐっと深める」では、写真で対話的・協働的な学習場面が例示されており、児童が多面的・多角的に学習する際の参考にできるよう配慮されている。 ○ 教材の冒頭にキャラクターによる第1発問、教材末の「考えてみよう」「見つめよう・生かそう」に2つの発問を設置し、学びの流れを作れるよう工夫されている。 	
	資料	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全学年、全教材にQRコンテンツが用意され、教材理解を助け、児童一人一人の個別最適な学びを支えるよう工夫されている。 ○ 文学作品、スポーツ選手、芸術家など幅広いテーマが教材として取り上げられ、児童の興味・関心を引き出すよう工夫されている。 ○ 児童一人一人の思考を深めるためのツールとして、道徳ノートが付属されている。
	表記表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ 当該学年以上の漢字やキーワード、固有名詞等の漢字には、全てに振り仮名がつけられている。脚注欄では難解な語句の補足説明がなされている。 ○ A～Dの視点を児童に分かりやすいアイコンで色分けして示し、教材本文ではUDデジタル教科書体を使用している。
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子供たちの個別最適な学びに向け、授業の導入や展開などで活用できる朗読音声・動画、ワークシートなどのデジタルコンテンツが豊富に準備されている。 ○ 別冊の道徳ノートでは、考える、話す、聞く、それぞれの活動が促され、児童の成長の様子や学習状況を継続的に把握でき、家庭との連携や評価にも活用できる。 	

第25採択地区教科用図書採択協議会

【小学校】研究調査報告書

種目名（道徳）

項目	小学道徳 ゆたかな心 (208・光文)	
小学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭にオリエンテーションとして「ゆたかな心」を設置し、何をどのように学ぶのかを明確にし、主体的に学習に取り組めるようにしている。 ○ 他者の見方や考え方を確かめたり、物事を多面的・多角的に考えたりすることができるよう、話し合い活動の具体的な方法を提示している。 ○ 考えたことを書いて言語化する活動を終末「まとめよう」、発展「ひろげよう」で提案し、多様な考えを生かすための言語活動を充実させている。 	
特色	<p>＜現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「いじめ」について全学年に重点主題として設置し、「いじめを生まない心」を主眼に、子ども自身の問題として捉えられるような教材を選定している。 ○ 情報社会で適切な活動を行うもととなる考え方を養えるよう、全学年に情報モラルのコラムを設け、児童にとって身近な話題を通して学べる工夫がされている。 <p>＜発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成するための効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 低学年では自己肯定感、中学年では仲間意識、高学年ではよりよい人間関係を築くための学年独自主題を設け、複数教材を配置している。 ○ 教材の内容が分かりやすく、かつ考える時間を十分に取れるよう、発達段階に応じて教材の文章量が配慮されている。 <p>＜「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する効果的な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭の「いろいろなやり方で考えてみよう」「話し合ってみよう」では、各学年に応じた思考ツールが掲載され、考えを視覚化したりまとめたりできる。 ○ 教材末に、自問自答しながら主体的に深く考えていくための中心発問と、多面的・多角的に考える発展発問の2種類が用意され、鳥のアイコンで示されている。 	
	資料	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全学年共通の人間関係を豊かにするコラム、進級・進学する子供たちに向けたエールとして「ことばのたからもの」と題し、相田みつをの詩が付されている。 ○ 巻末に折込ページ「学びの足あと」が付され、発達段階に応じて学習の振り返りができるように工夫されている。 ○ 効果的な教材にアクセスできる二次元コードが付されている。
	表記表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字は、前学年までに習った漢字の使用を基本とし、3年生までは、全ての漢字に振り仮名を振っている。また、2年生までは分かち書きとしている。 ○ 教材内の登場人物をわかりやすくするため、必要に応じて教材冒頭に登場人物を整理して表示している。
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年生は6教材、2年生以上は5教材の付録教材が加えられ、全40教材を提供している。また、日本それぞれの地域にゆかりのある人物や題材を取り上げている。 ○ 子供に寄り添うキャラクターを設定し、子供と教師が共に深く考えることができるよう、学びの場を「見つける」「考える」「広げる」の3視点で提供している。 	

第25採択地区教科用図書採択協議会

【小学校】研究調査報告書

種目名（道徳）

項目	新 みんなの道徳 (224・学研)
小学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「自分」「人」「集団や社会」「命や自然」の4つの視点で考えを深めるポイントを色とマークで示し、主体的な学習態度を育むよう工夫している。 ○ 全学年を通して、教材末に学習のてびき「考えよう」が設けられ、教材、内容項目に関わる発問が置かれ、多面的・多角的に考えられるようになっている。 ○ 「いのち」「多様性」「キャリア」の3つのテーマのユニットがあり、複数教材を用いて、多面的・多角的に考えを深められる工夫がある。
内容 特色	<p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での効果的な工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭「つながるわたし 広がるわたし」では、自分を取り巻く社会（現代的な課題）へ意識を向け、自分事として課題に向き合うためのマークが掲載されている。 ○ 「いのち」を最重要テーマとして「生命の尊さ」の教材を各学年に3本配置し、複数教材を組み合わせた「いのちのユニット」で考えを深めるよう工夫している。 <p><発達段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成するための効果的な工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学年ごとに児童の発達的特質に応じたテーマ（進もうみんな、共に生きる等）を設け、複数教材によるユニット学習を提案するなど工夫している。 ○ 各学年の巻頭には発達段階に応じたオリエンテーション、巻末には1年を振り返り次年度につなげる特設ページで学年・学校間の接続に配慮している。 <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する効果的な工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教材への関心をかきたてる投げかけとして、教材中の印象的な言葉（キーフレーズ）をタイトル下に掲載し、授業へのスムーズな導入ができるよう配慮している。 ○ 教材の最後の「考えよう」には、児童が自己を見つめるきっかけとなる問いが設定され、「深めよう」には3つのステップを通した授業展開が掲載されている。
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○ AB版のワイドな判型を生かして実物大の赤ちゃんの写真を掲載するなど、挿絵や写真、図版などで、児童の感性や学習意欲に訴えかけるようにしている。 ○ タイトル下部のQRコードから、インターネット上の補助教材にアクセスできる。教材に関連する写真・動画・音声やクイズ形式の教材がある。 ○ 巻末の「つなげよう」「ひろげよう」で1年間の学習の振り返りができる。
表記 表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年生は分かち書き、文節改行されている。片仮名にルビが付されている。数字については全て漢字を用いて、教材文の初出の語句にルビが付されている。 ○ 大きく見やすいユニバーサルフォントを使用し、余白を適度に確保した紙面構成、視認性を考慮したわかりやすいマークで表現している。
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1冊の教科書にストーリー性をもたせて、巻頭の導入から巻末の振り返りまでの流れをつくり、自らの成長を実感できるよう工夫されている。 ○ 「いのち」「多様性」「キャリア」の3つのテーマのユニットを設け、それぞれ複数教材を用いて、多面的・多角的に考えを深められるよう工夫されている。

第25採択地区教科用図書採択協議会